

平成26年度決算説明会

平成27年6月3日

株式会社山口フィナンシャルグループ

目次

1. 業績概要

平成26年度決算の概要(連結・3行単体合算)	1
山口銀行の平成26年度決算概要	2
もみじ銀行の平成26年度決算概要	3
北九州銀行の平成26年度決算概要	4
預貸金の状況	5
期中平均利回りの推移	6
有価証券残高・評価損益の状況	7
役務収益の推移	8
信用コストと不良債権の状況	9
自己資本比率の状況	10
経費の推移と見通し	11
平成28年3月期の業績予想	12
配当実績	13
株価推移	14

2. グループ戦略

YMFGの歩み(設立～10周年に向けて)	15
経営統合のフロントランナーとしての成果	16
中期経営計画最終年度2015	17
実効性のある地方創生に向けた態勢整備	18
地域をつなぐ商流創出について	19
アジアネットワークの構築	20
創業・事業拡大・事業承継への支援	21
最適な商品・サービスの提供	22
グループガバナンスの強化	23

3. 資料編

業績推移(1)FG連結・3行合算	24
業績推移(2)各行単体	25
貸出金推移(末残)	26
預金推移(末残)	27
資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)	28
利回り・利鞘推移	29
債務者区分の遷移状況(H26年9月末⇒H27年3月末)	30
債務者区分の遷移状況(H26年3月末⇒H27年3月末)	31
リスク資本配賦	32
地区別経済概況(山口県)	33
地区別経済概況(広島県)	34
地区別経済概況(北九州)	35
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)	36
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)	37

1.業績概要

平成26年度決算の概要(連結・3行単体合算)

- **連結コア業務純益**…経費減少(前年同期比△17億円)、資金利益の増加(同+25億円)を主因に**前年同期比27億円の増加**。
- **連結当期純利益**…貸倒引当金戻入益の減少等による与信関係費用増加(前年同期比+29億円)を主因に**前年同期比7億円の減少**。

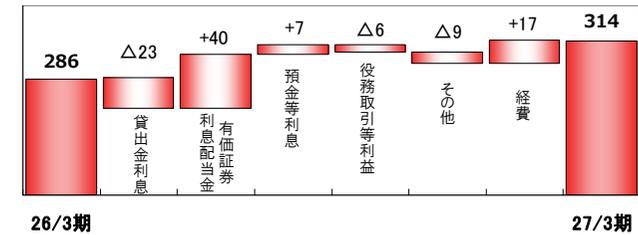
(億円)

	YMFG連結		3行合算				
		前年同期比		前年同期比	山口	もみじ	北九州
経常収益	1,590	△ 21	1,465	12	13	△ 45	11
コア業務粗利益	1,148	10	1,087	13	16	△ 4	1
資金利益	965	25	974	25	30	△ 6	1
役務取引等利益	168	△ 5	125	1	1	0	0
その他業務利益	72	11	68	28	37	△ 9	△ 0
経費(△) (除く臨時処理分)	834	△ 17	750	△ 18	△ 10	△ 8	1
人件費(△)	-	-	329	△ 17	△ 11	△ 5	△ 0
物件費(△)	-	-	380	△ 4	△ 0	△ 4	0
コア業務純益	314	27	336	32	27	4	△ 0
経常利益	473	△ 25	497	△ 2	7	△ 18	9
当期純利益	305	△ 7	321	△ 9	10	△ 23	3
与信関係費用	△ 39	29	△ 41	28	40	△ 2	△ 9

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

連結コア業務純益

(単位：億円、増減は四捨五入)



資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	27/3期	前年同期比
資金利益	974	25
資金運用収益	1,052	18
貸出金利息	785	△ 21
有価証券利息	253	39
資金調達費用	77	△ 6
預金利息	63	△ 7

連単差

3行合算当期純利益	321億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△ 48億円
FG連結調整等	28億円
子銀行連結調整	4億円
YMFG連結当期純利益	305億円

※ もみじ銀行のれん償却は9年度目。平成28年度に償却終了。

山口銀行の平成26年度決算概要

- コア業務純益…貸出金利息は小幅な減少、有価証券利息配当金及び経費削減を主因に前年同期比27億円の増加。
- 当期純利益 …貸倒引当金戻入益の減少(前年同期比△41億円)により、当期純利益は前年同期比10億円の増加に留まる。

(億円)

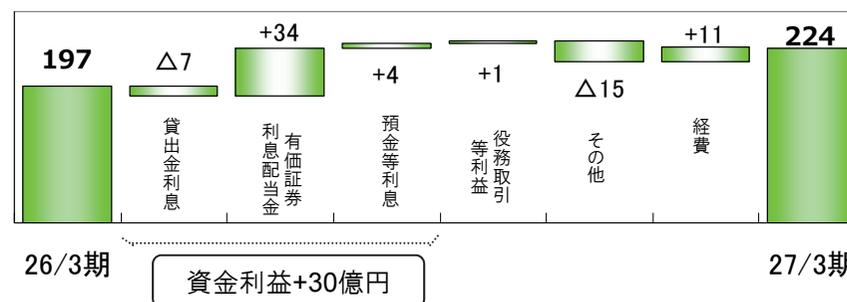
	27/3期	前年同期比
経常収益	850	13
業務粗利益	658	68
資金利益	535	30
役務取引等利益	77	1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	44 (63)	37 (52)
経費(除く臨時処理分)(△)	369	△10
うち人件費(△)	155	△11
うち物件費(△)	195	△0
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	288	79
コア業務純益	224	27
臨時損益	24	△72
うち株式等関係損益	30	△11
うち不良債権処理額(△) ②	0	△0
うち貸倒引当金戻入益 ③	6	△41
うち償却債権取立益 ④	0	0
経常利益	313	7
特別損益	△0	5
税引前当期純利益	313	12
当期純利益	200	10
与信関係費用(①+②-③-④)	△6	40

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

●コア業務純益 224億円(前年同期比+27億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益

(単位：億円、増減は四捨五入)



●有価証券関係損益 94億円(前年同期比+40億円)

(億円)	27/3期	前年同期比
国債等債券損益	63	52
売却損益	70	52
償還損益	△6	△0
株式等損益	30	△11
売却損益	30	△11
償却額(減損処理)(△)	0	0

もみじ銀行の平成26年度決算概要

- コア業務純益...貸出金利息の減少があるも、経費削減等により最終的には前年同期比4億円の増加。
- 当期純利益 ...株式等関係損益の減少(前年同期比△19億円)を主因に、当期純利益は前年同期比23億円の減少となった。

(億円)

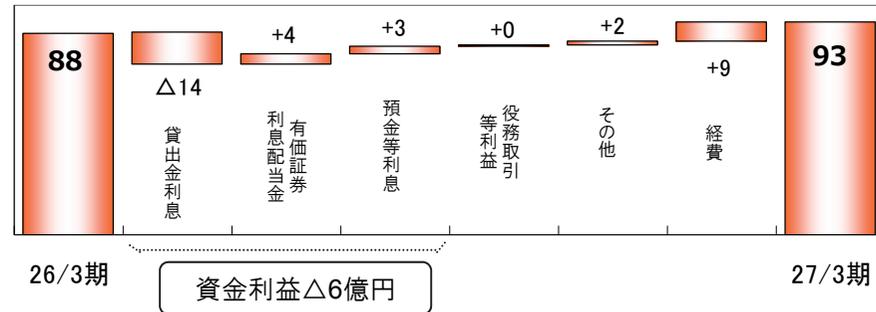
	27/3期	前年同期比
経常収益	516	△ 45
業務粗利益	400	△ 15
資金利益	340	△ 6
役務取引等利益	38	0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	21 (17)	△ 9 (△11)
経費(除く臨時処理分)(△)	289	△ 8
うち人件費(△)	132	△ 5
うち物件費(△)	140	△ 4
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	110	△ 6
コア業務純益	93	4
臨時損益	43	△ 12
うち株式等関係損益	14	△ 19
うち不良債権処理額(△) ②	1	△ 1
うち貸倒引当金戻入益 ③	24	△ 1
うち償却債権取立益 ④	3	3
経常利益	154	△ 18
特別損益	△ 0	0
税引前当期純利益	153	△ 17
当期純利益	106	△ 23
与信関係費用(①+②-③-④)	△ 25	△ 2

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

●コア業務純益 93億円(前年同期比+4億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益

(単位：億円、増減は四捨五入)



●有価証券関係損益 32億円(前年同期比△30億円)

(億円)	27/3期	前年同期比
国債等債券損益	17	△11
売却損益	19	△14
償還損益	△1	3
株式等損益	14	△19
売却損益	14	△20
償却額(減損処理)(△)	0	△1

北九州銀行の平成26年度決算概要

- コア業務純益...貸出金利息の減少は限定的(ボリュームでカバー)。ほぼ前年並みの水準を確保。
- 当期純利益 ...貸倒引当金戻入益の増加を主因に、当期純利益は前年同期比3億円の増加となった。

(億円)

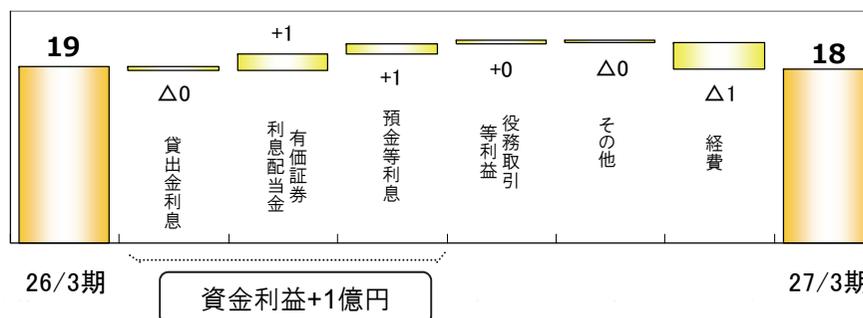
	27/3期	
	27/3期	前年同期比
経常収益	139	11
業務粗利益	110	1
資金利益	98	1
役員取引等利益	8	0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	2 (-)	△0 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	91	1
うち人件費(△)	41	△0
うち物件費(△)	43	0
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	18	△0
コア業務純益	18	△0
臨時損益	10	9
うち株式等関係損益	△0	△0
うち不良債権処理額(△) ②	0	0
うち貸倒引当金戻入益 ③	9	9
うち償却債権取立益 ④	0	0
経常利益	29	9
特別損益	△1	△1
税引前当期純利益	28	7
当期純利益	15	3
与信関係費用(①+②-③-④)	△9	△9

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

●コア業務純益 18億円(前年同期比△0億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益

(単位：億円、増減は四捨五入)



●有価証券関係損益 △0億円(前年同期比△0億円)

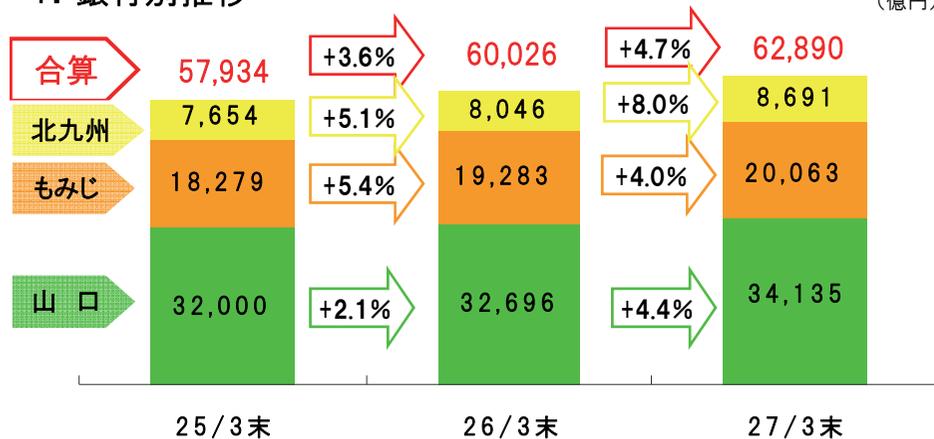
(億円)	27/3期	前年同期比
国債等債券損益	-	0
売却損益	-	0
償還損益	-	-
株式等損益	△0	△0
売却損益	-	△0
償却額(減損処理)(△)	0	0

預貸金の状況

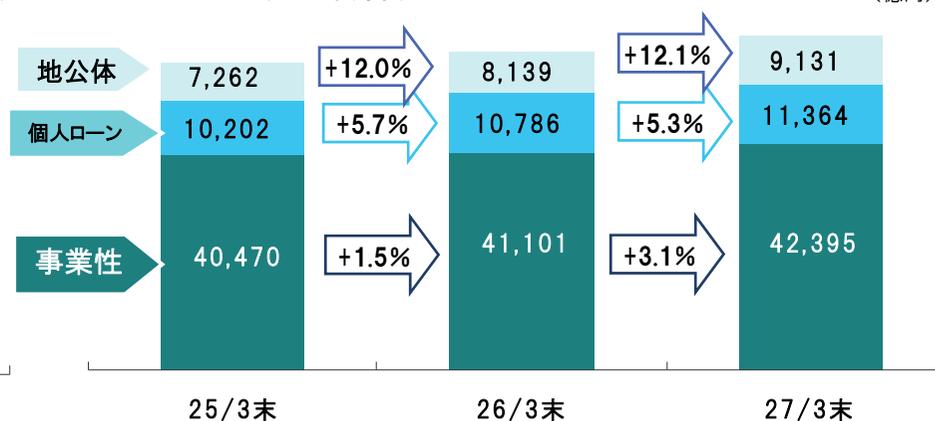
- 貸出金：前年同期比2,864億円増加、グループ3行のうち北九州銀行は年率8.0%の伸長。
- 預金：前年同期比4,838億円増加、うち山口銀行が+3,186億円とグループ全体を牽引。

貸出金

1. 銀行別推移

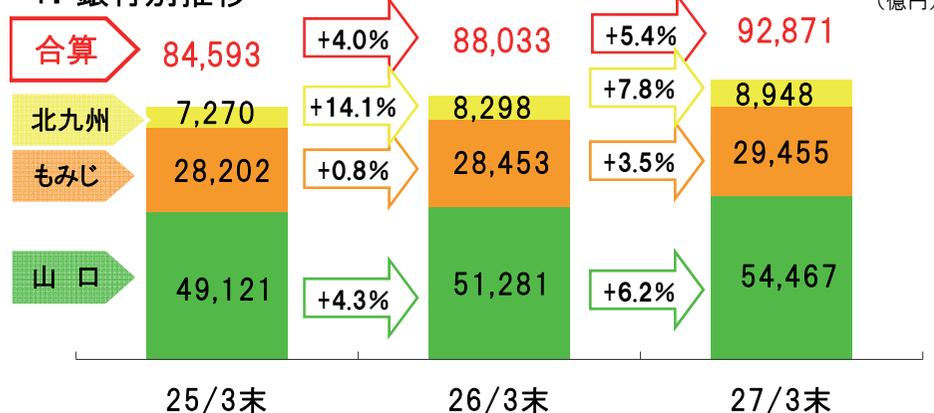


2. セグメント別(3行合算)

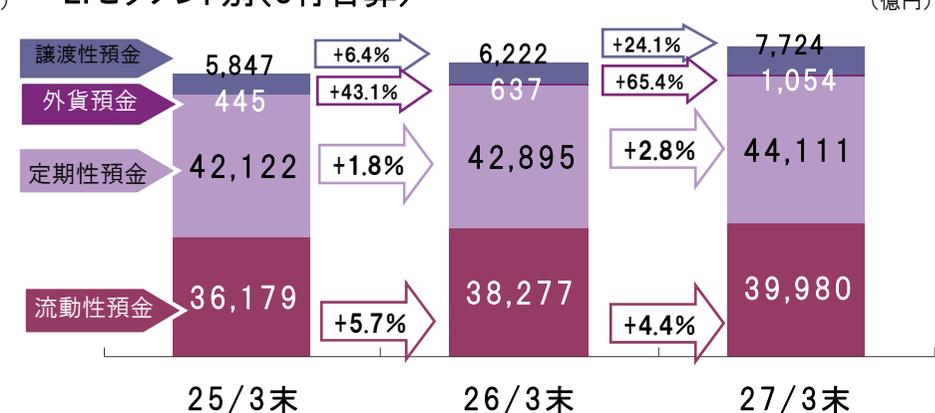


預金

1. 銀行別推移



2. セグメント別(3行合算)

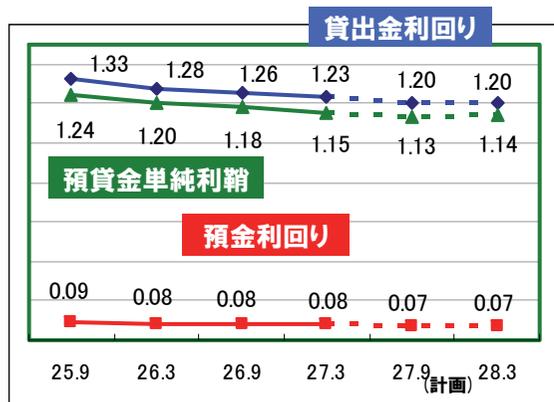


期中平均利回りの推移

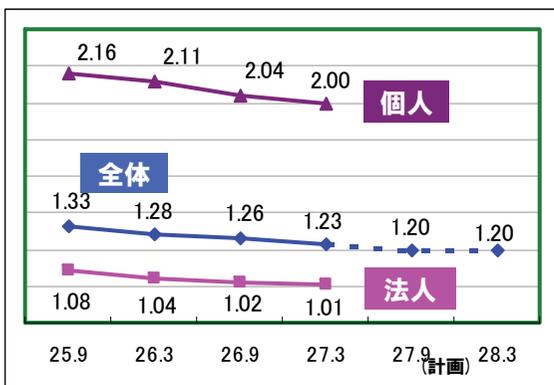
- 市場金利低下の影響で、貸出金利回りは下方推移も、山口銀行法人向け貸出金利回は下げ止まり傾向。
- グループ全体でリテール(個人・中小企業向け)融資注力により、下支えしていく。

山口銀行

● 預貸金利回り

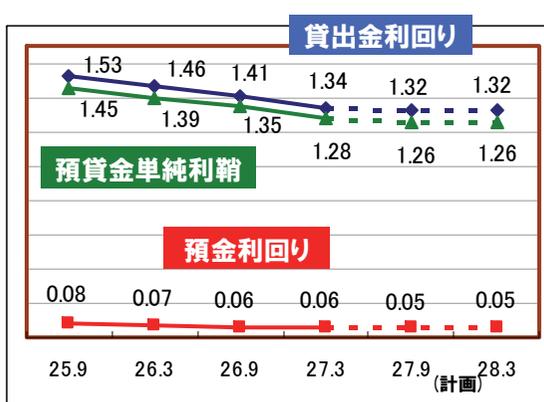


● 法人・個人別貸出金利回り

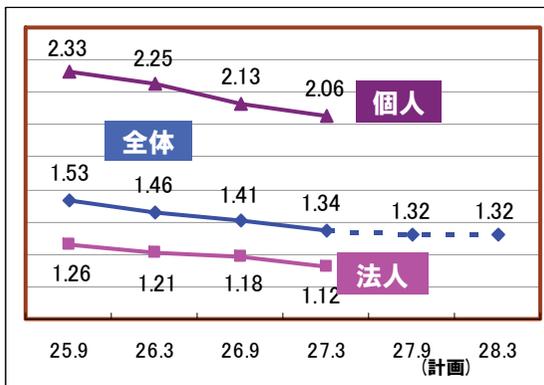


もみじ銀行

● 預貸金利回り

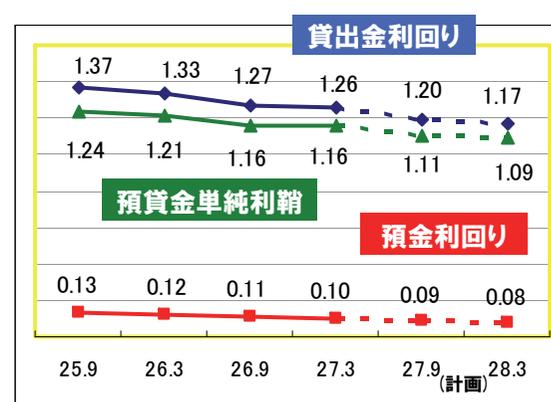


● 法人・個人別貸出金利回り

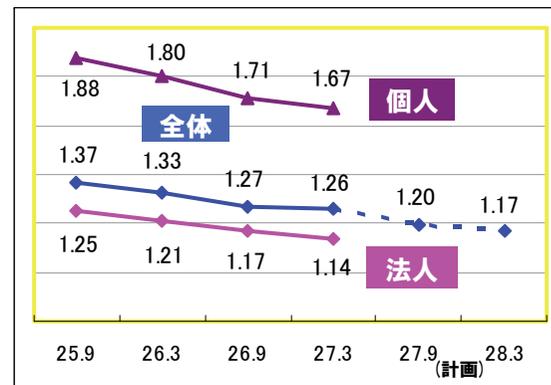


北九州銀行

● 預貸金利回り



● 法人・個人別貸出金利回り



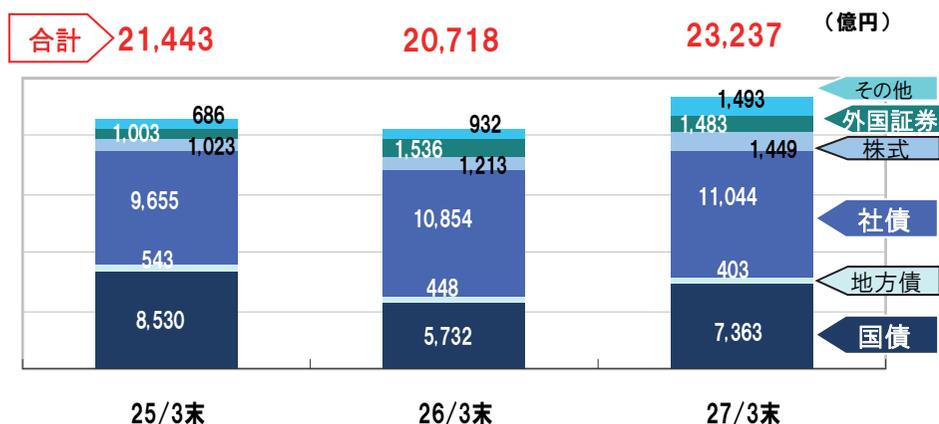
※利回り・利鞘は国内店分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を切捨表示。

※法人・個人別貸出金利回りは実績のみ表示。

有価証券残高・評価損益の状況

- 機動的な売買により、資金利益及び売買損益を確保。
- 株式評価額が増加し、有価証券評価益は1,040億円(前期比489億円増加)の水準。

1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)

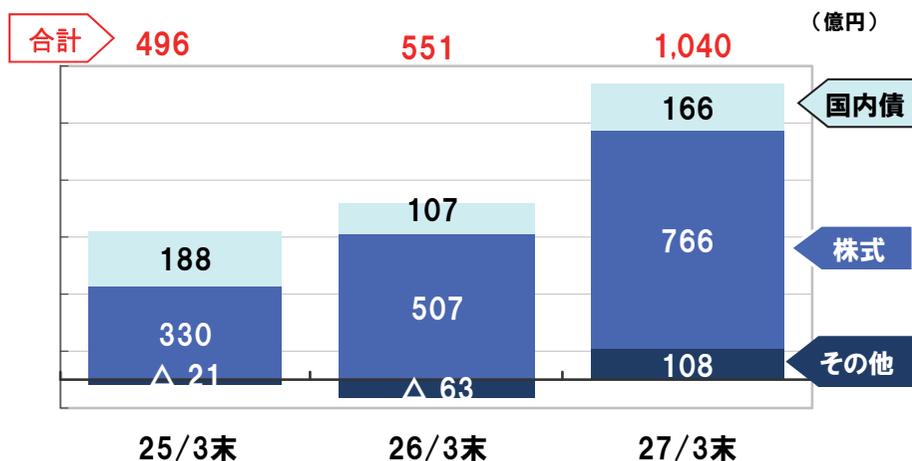


2. 有価証券構成比(3行合算)

(億円、%)

項目	25/3期		26/3期		27/3期		前年比
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	
国債	8,530	39.8%	5,732	27.7%	7,363	31.7%	4.0%
地方債	543	2.5%	448	2.2%	403	1.7%	-0.4%
社債	9,655	45.0%	10,854	52.4%	11,044	47.5%	-4.9%
うち政府保証債	(7,150)	(33.3%)	(8,237)	(39.8%)	(8,489)	(36.5%)	-(3.2%)
株式	1,023	4.8%	1,213	5.9%	1,449	6.2%	0.4%
外国証券	1,003	4.7%	1,536	7.4%	1,483	6.4%	-1.0%
その他	686	3.2%	932	4.5%	1,493	6.4%	1.9%
計	21,443	100%	20,718	100%	23,237	100%	

3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



4. 保有債券のデュレーション

(年)

山口銀行	26/3期	27/3期	前年同期比
国内債	4.30	4.31	+0.01
外国債券	3.75	5.36	+1.61

もみじ銀行	26/3期	27/3期	前年同期比
国内債	4.44	3.63	▲0.81
外国債券	3.35	2.67	▲0.68

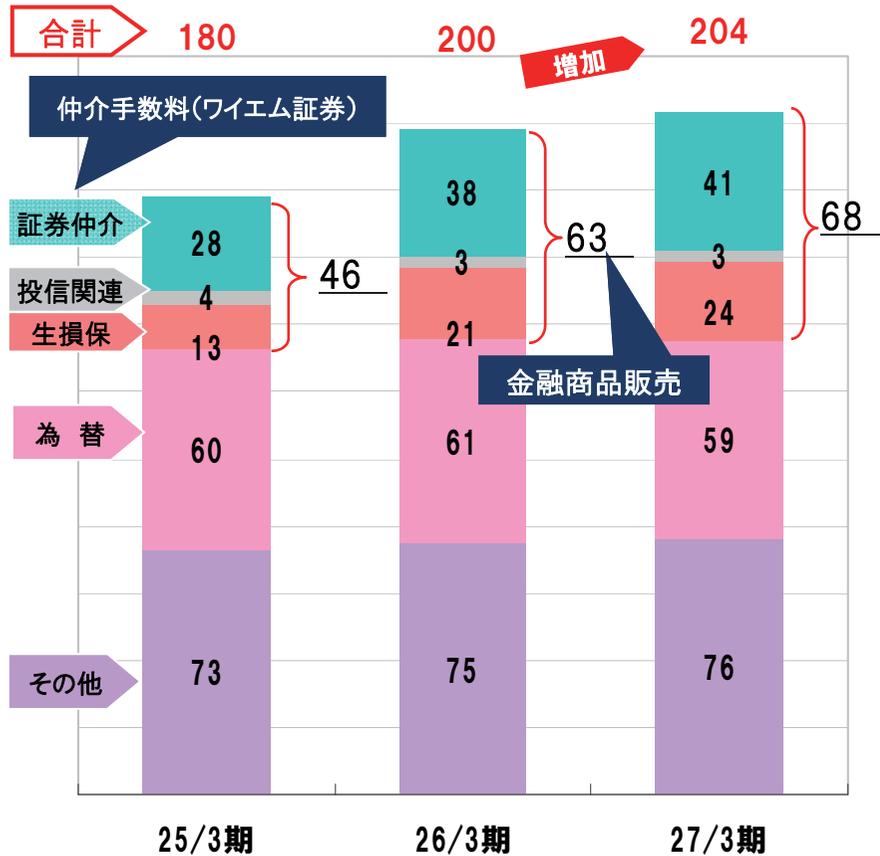
北九州銀行	26/3期	27/3期	前年同期比
国内債	6.60	9.61	+3.01
外国債券	-	-	-

役務収益の推移

■ワイエム証券との銀証連携により、**金融商品販売に係る手数料は増加**。個人預り資産残高についても保険を中心に増加。
 ■ビジネスマッチングなど新たなソリューションビジネスの展開により、**その他役務収益についても増加**。

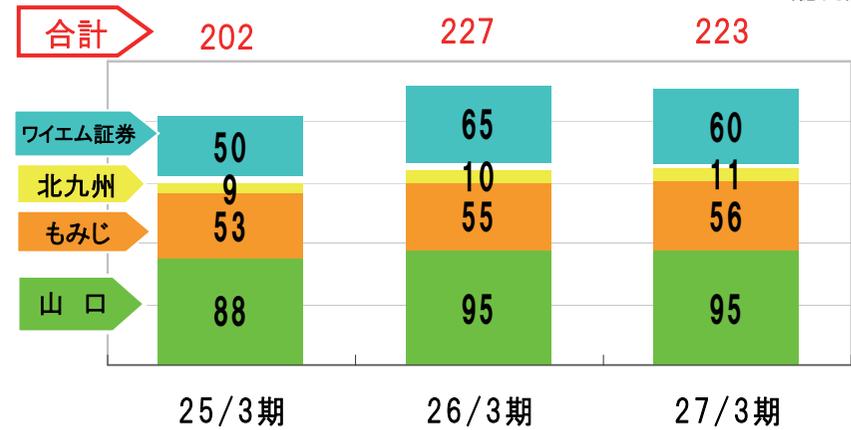
1. 商品・サービス別役務収益(3行合算)

(億円)



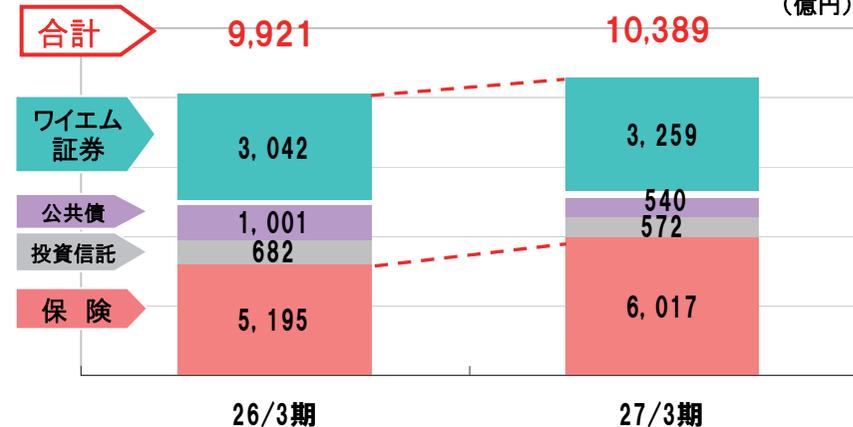
2. グループ企業別役務収益(ワイエム証券を含む)

(億円)



3. グループ個人預り資産推移(ワイエム証券を含む)

(億円)

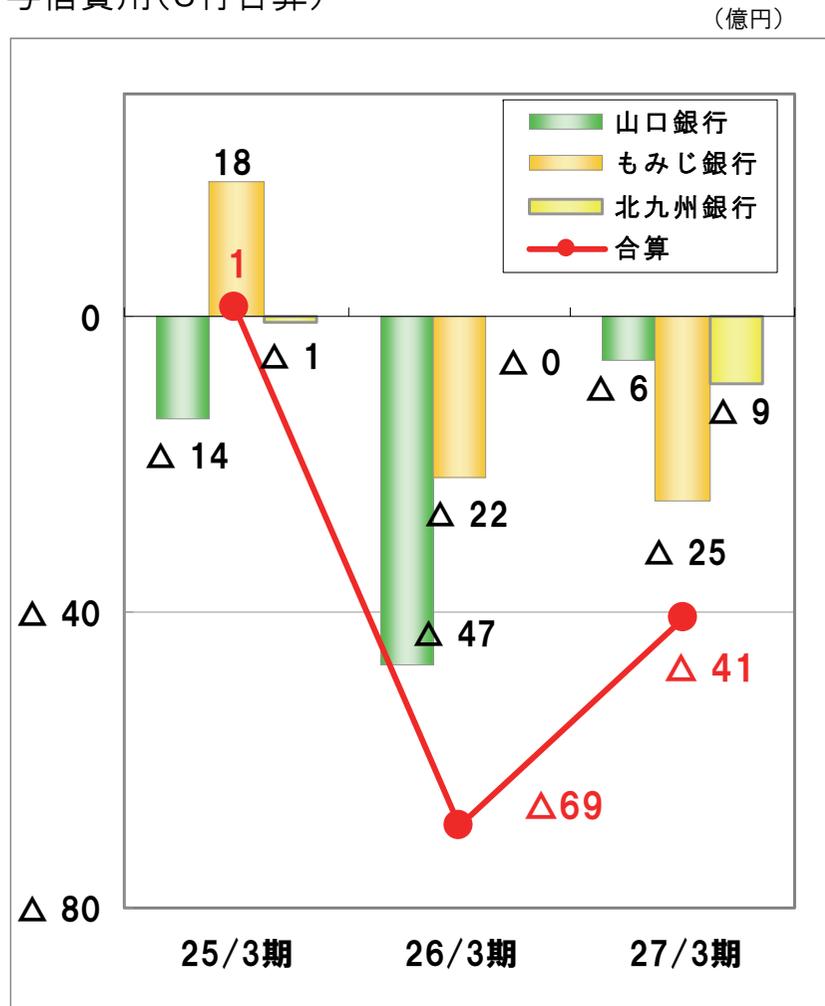


※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

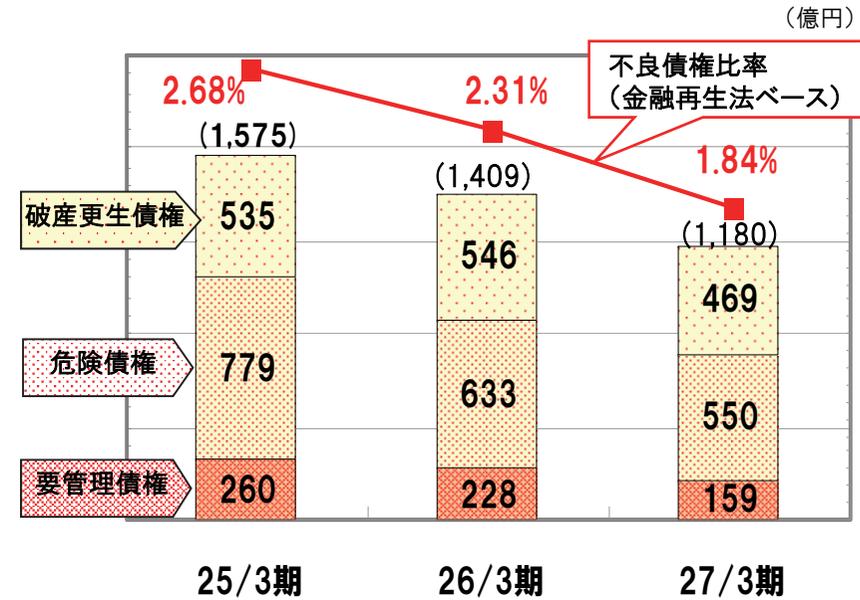
信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、3行合算で前年同期比28億円増加(貸倒引当金戻入益が減少)して△41億円(利益計上)。
- ◆不良債権残高は、前年同期比229億円減少。不良債権比率も1.84%(前年同期比△0.47%)と大幅に改善。

1. 与信費用(3行合算)



2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)



〔業種別開示債権〕(3行合算)

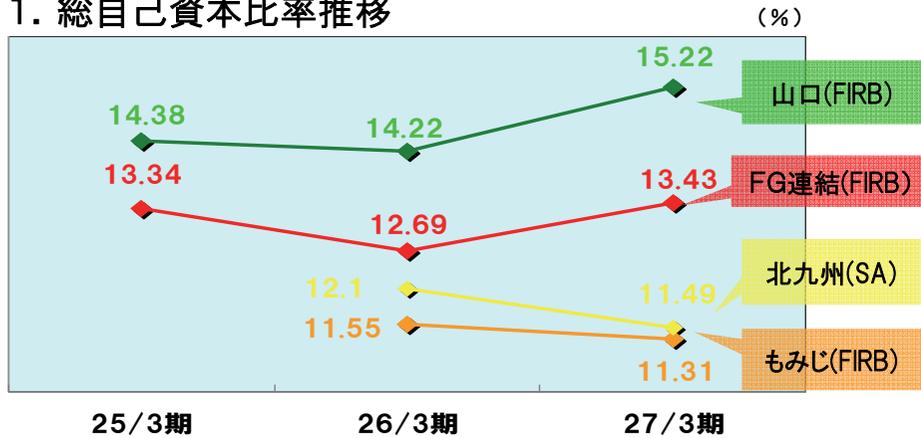
(億円)

	26/3期	27/3期	増減
開示債権合計	1,409	1,180	△ 229
製造業	224	212	△ 11
建設業	191	151	△ 39
卸売・小売業	234	212	△ 22
不動産業・物品質貸業	147	127	△ 20
各種サービス業	308	232	△ 76
その他	301	243	△ 58

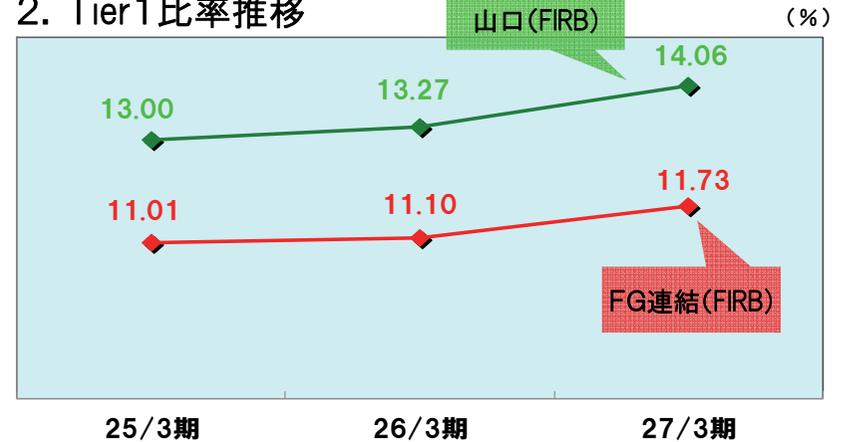
自己資本比率の状況

- FG連結ベースで、総自己資本比率**13.43%**(前年同期比+0.74%)、Tier1比率**11.73%**(前年同期比+0.63%)。
- 自己資本規制強化の流れの中、引き続き健全な水準を目指す。

1. 総自己資本比率推移

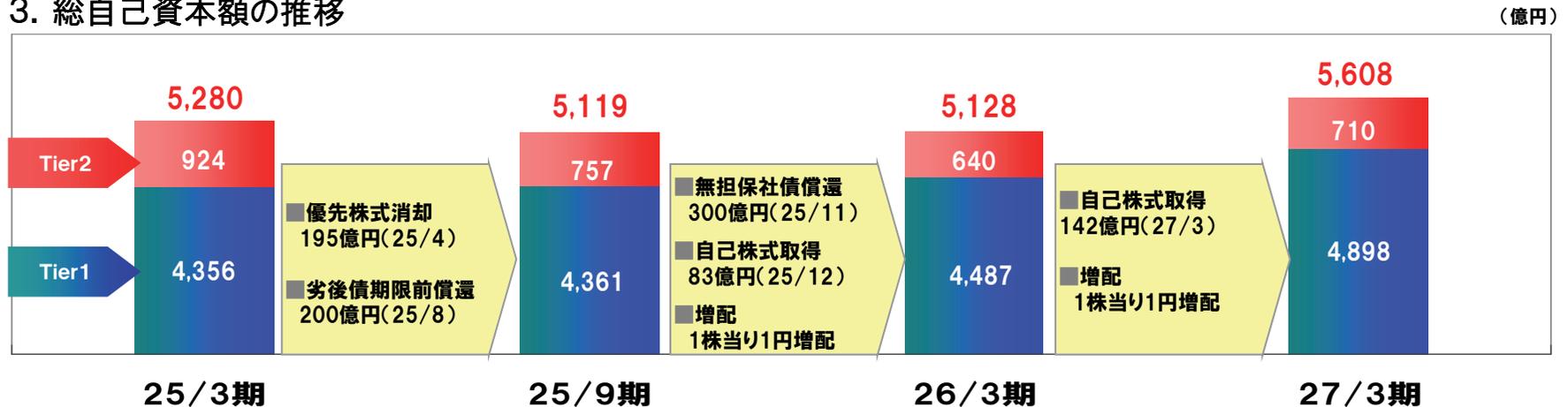


2. Tier1比率推移



※山口フィナンシャルグループ及び山口銀行は平成25年3月期より国際統一基準(バーゼル3)により算出。もみじ銀行及び北九州銀行は平成26年3月期より国内基準(バーゼル3)により算出。
 ※山口フィナンシャルグループ、山口銀行及びもみじ銀行は信用リスク・アセットの算出において、基礎的内部格付手法を採用。北九州銀行は標準的手法により算出。
 ※自己資本の構成に関する開示事項については当社ホームページ上に記載。

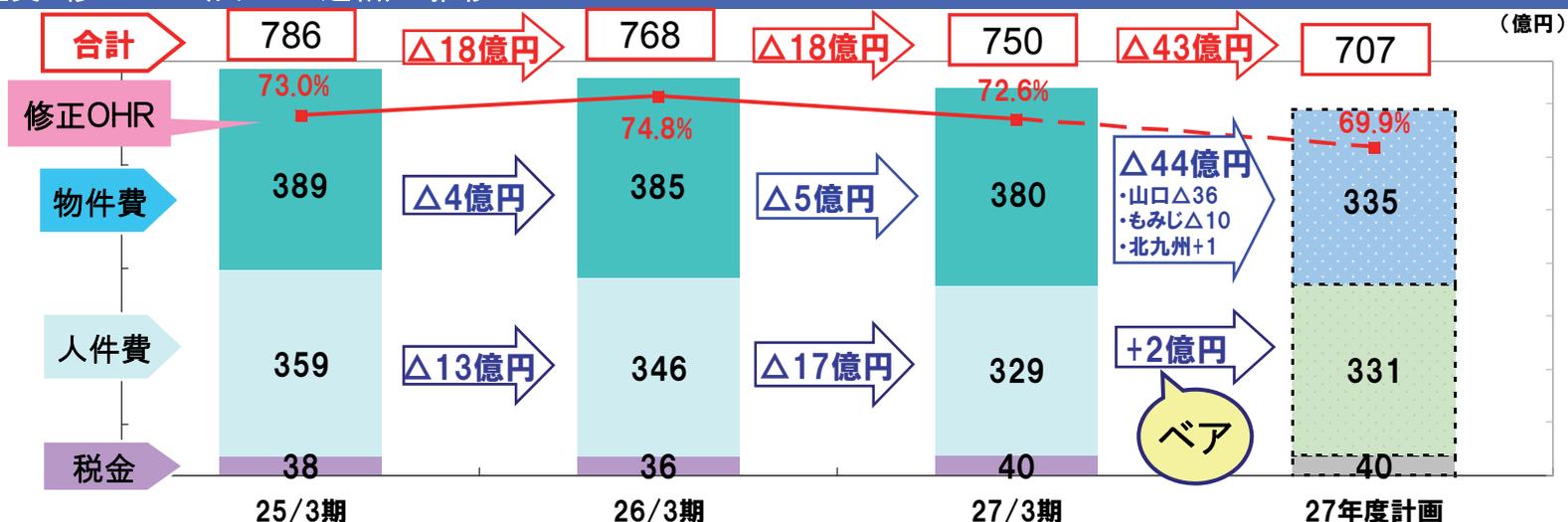
3. 総自己資本額の推移



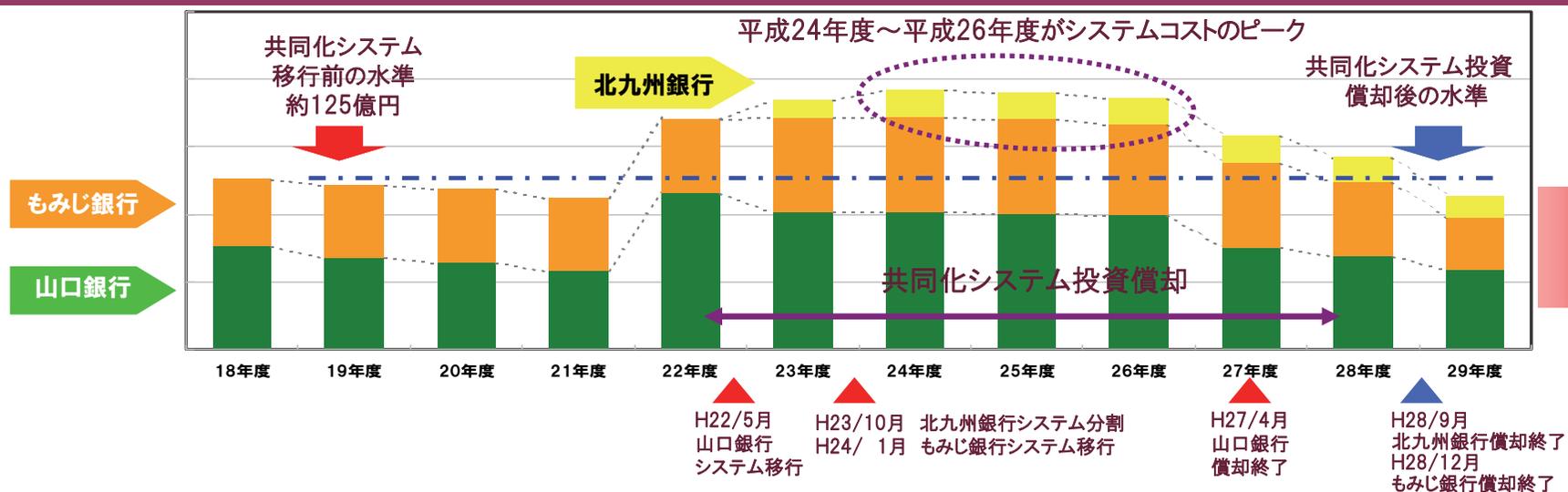
経費の推移と見通し

- システム共同化負担が今期よりピークアウト、経費は前年同期比△18億円。
- 平成27年度は山口銀行のシステム投資償却が終了することを主因に前年同期比△43億円を見込む。

3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



システムコストの推移(イメージ図)



平成28年3月期の業績予想

- 平成28年3月期は減収・増益決算見込み。増益の主因は経費減(システムコスト)によるもの。
- 中計最終年度として、経常利益500億円(前年同期比+26億円)、当期利益315億円(前年同期比+10億円)を見込む。

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結		
	通期予想	27/3比	中計比
経常収益	1,560	△ 30	-
コア業務粗利益	1,140	△ 9	△ 140
コア業務純益	345	31	△ 85
経常利益	500	26	85
当期利益	315	10	65

2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	27/3比
経常収益	1,411	△ 53
コア業務粗利益	1,079	△ 8
資金収支	925	△ 48
役務収支	146	20
経費	707	△ 43
人件費	331	2
物件費	335	△ 44
コア業務純益	371	34
経常利益	529	31
当期利益	356	34
与信費用	△ 8	32

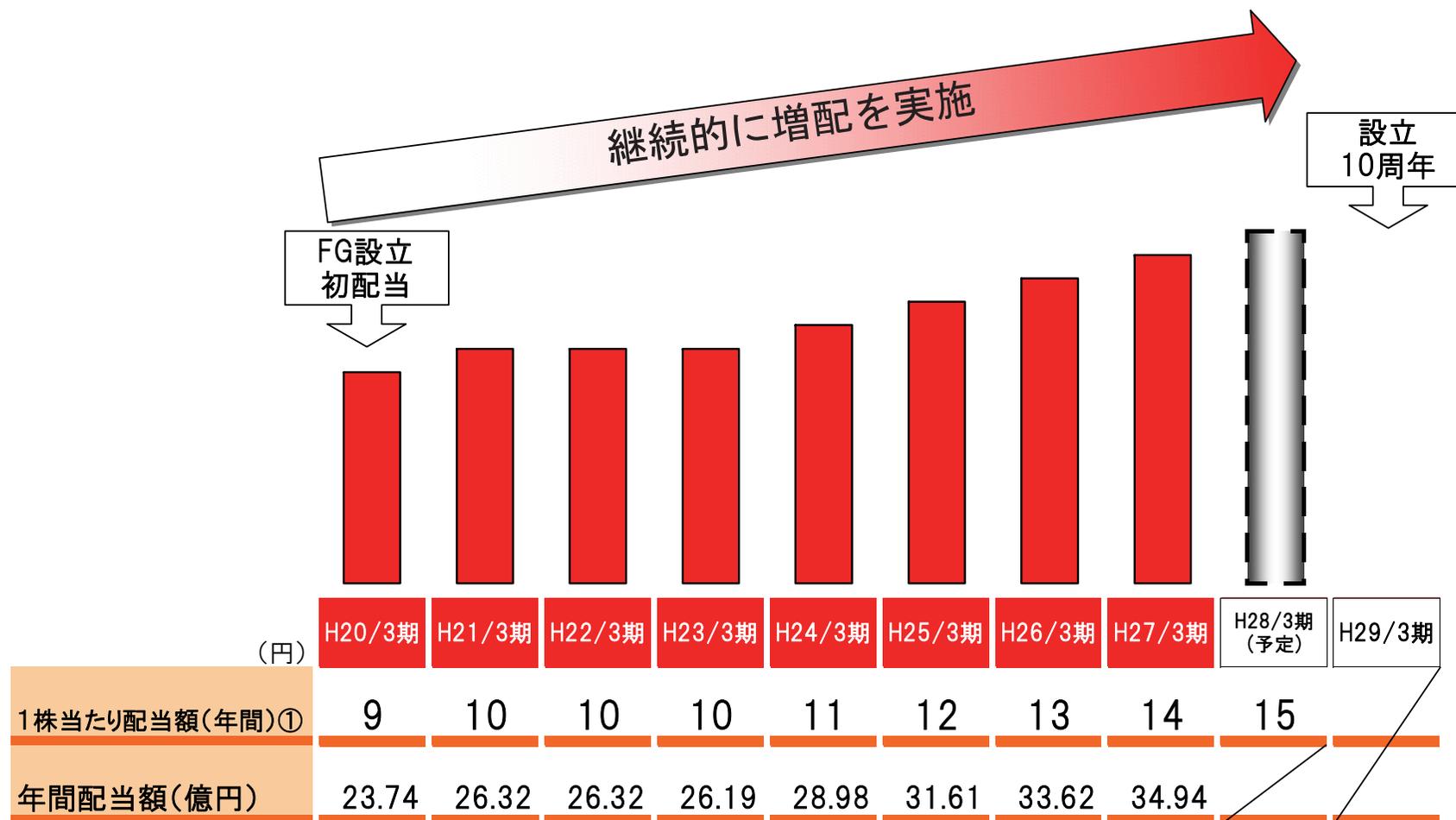
3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	27/3比	通期予想	27/3比	通期予想	27/3比
経常収益	795	△ 55	485	△ 31	145	5
コア業務粗利益	600	5	364	△ 19	115	5
資金収支	506	△ 29	317	△ 23	101	3
役務収支	91	14	43	5	11	3
経費(△)	334	△ 35	280	△ 9	93	2
人件費(△)	157	2	131	△ 1	42	1
物件費(△)	159	△ 36	130	△ 10	45	1
コア業務純益	266	41	84	△ 9	22	3
経常利益	350	37	145	△ 9	30	0
当期利益	235	34	100	△ 6	20	5
与信費用	3	9	△ 17	8	6	15

※記載金額は、単位未滿を切捨て表示

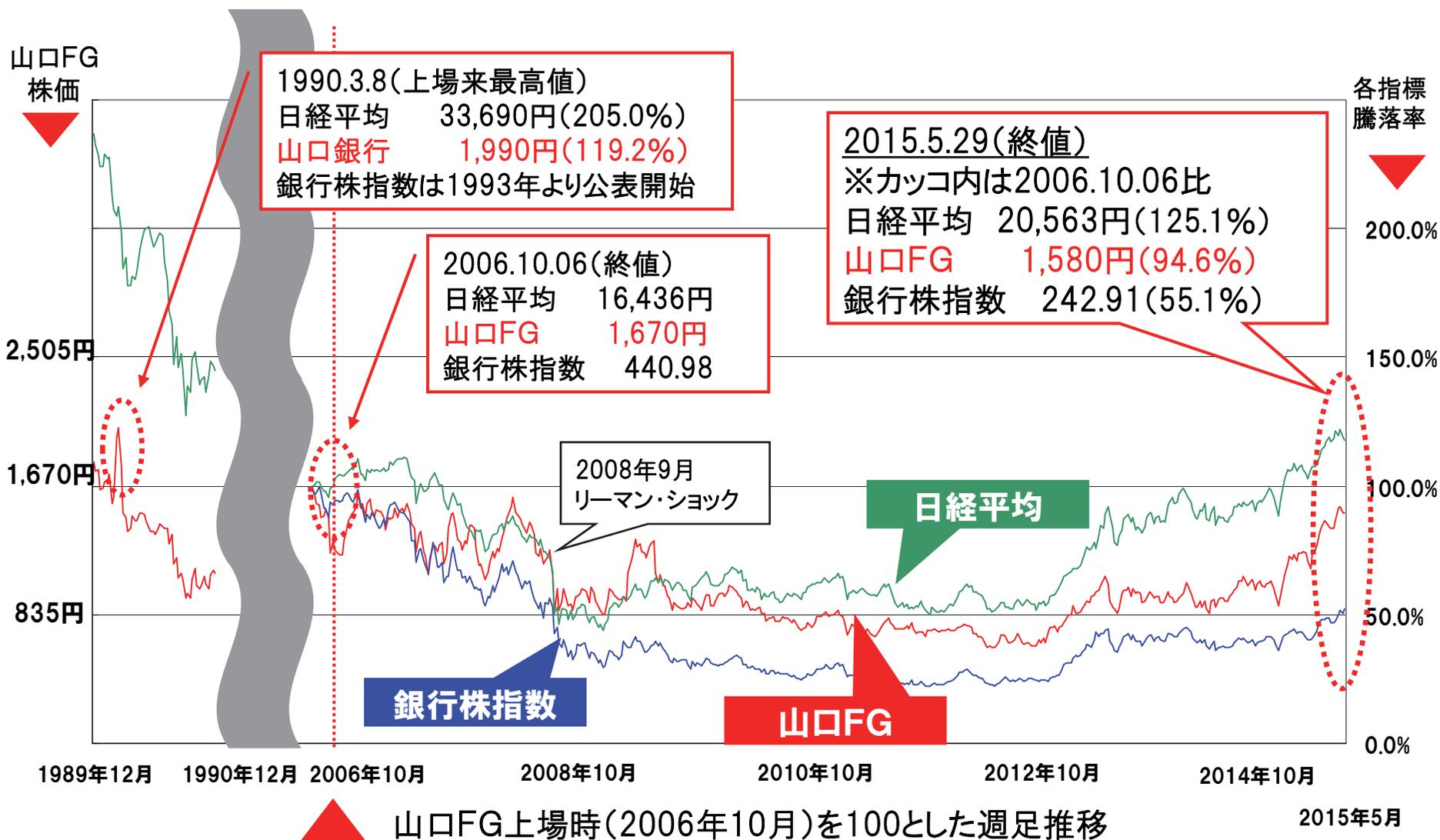
配当実績

- 中長期的な安定配当を基本とした株主還元を実施していく。
- FG設立以来、継続的に増配を実施し、配当は設立比約1.5倍の水準へ。



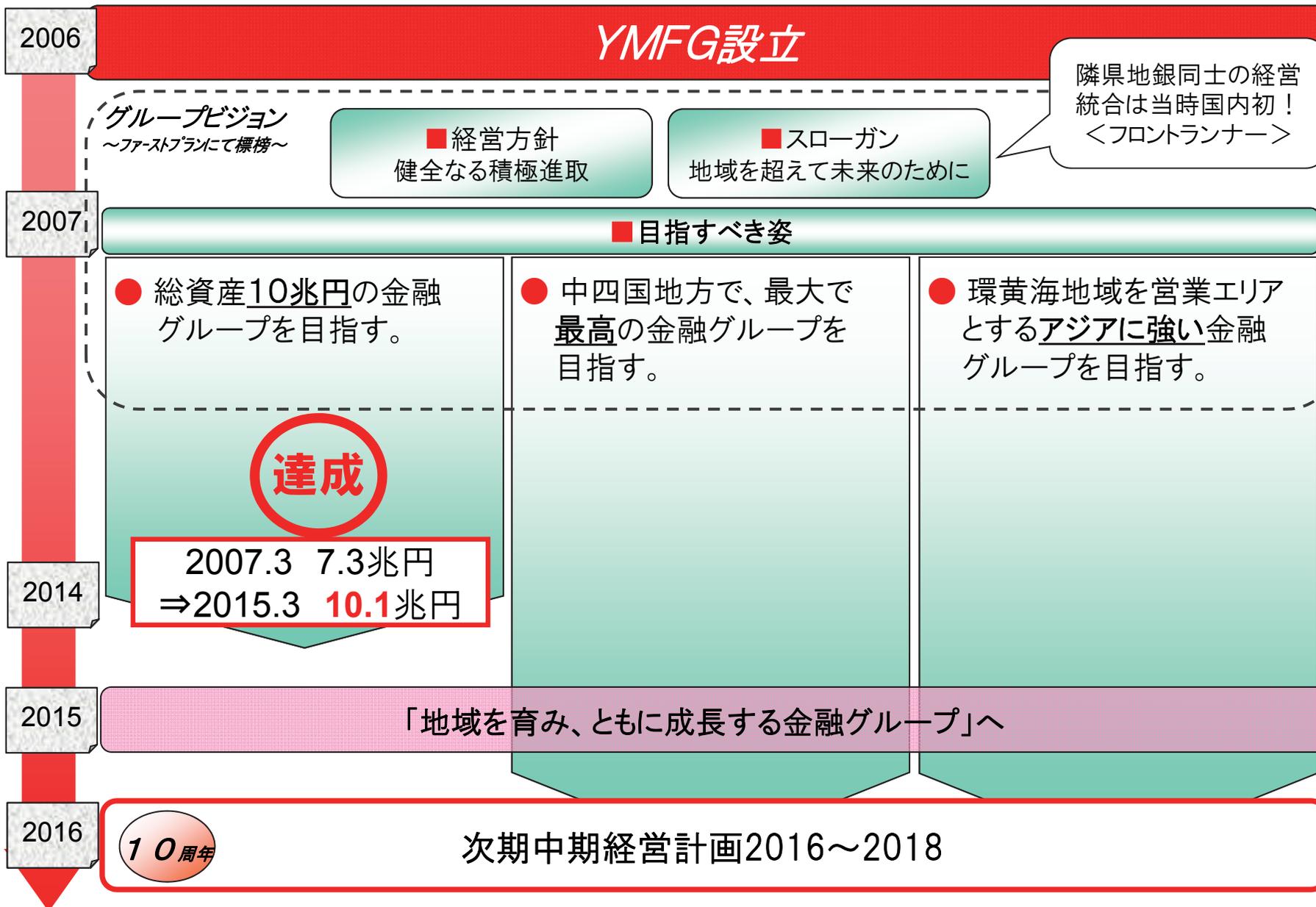
株価推移

- 2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- 直近の山口FG株価は1,580円(山口FG上場時比94.6%)。



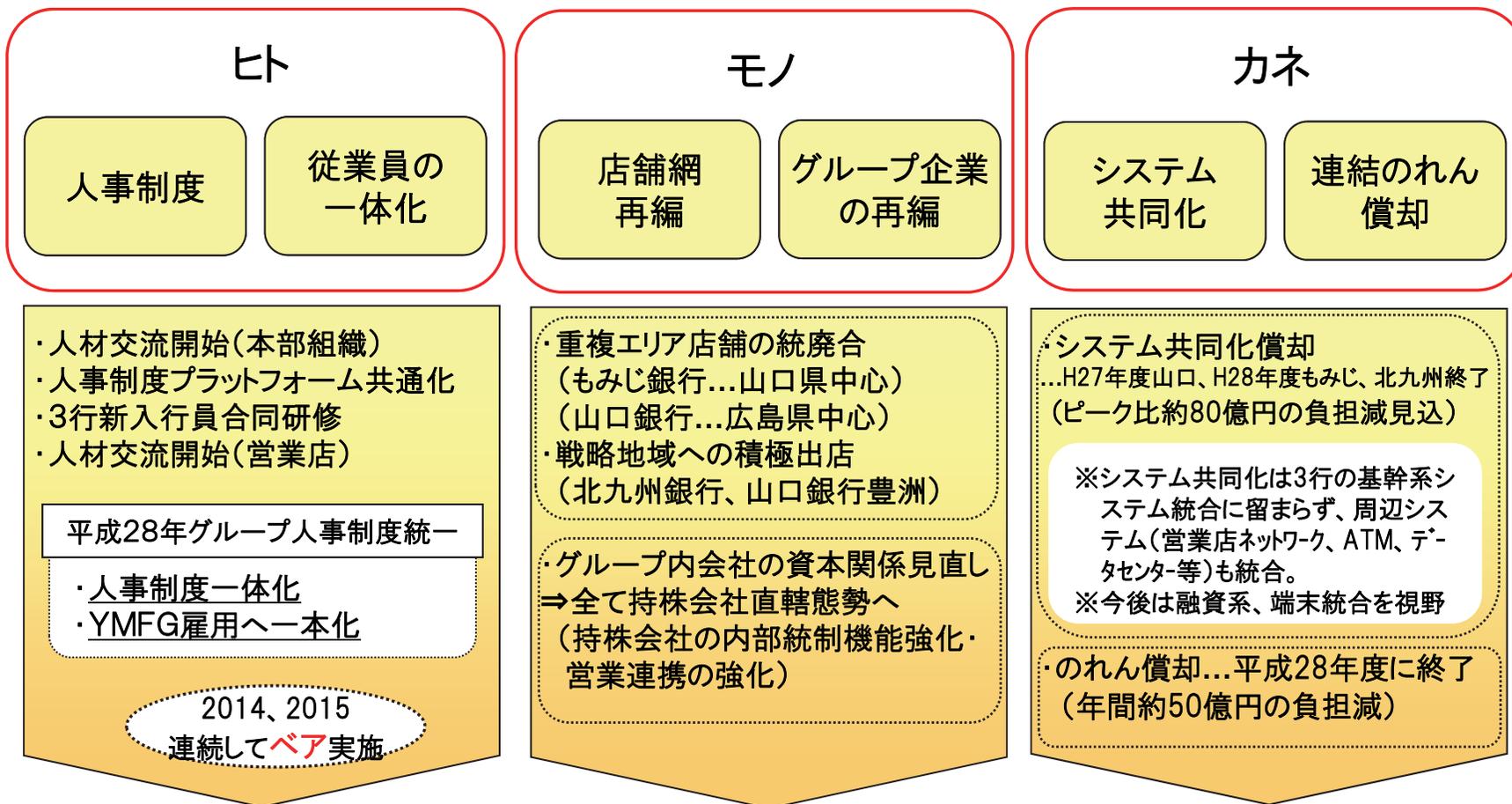
2.グループ戦略

YMFGの歩み(設立～10周年に向けて)



経営統合のフロントランナーとしての成果

- 2006.10当時としては、隣県地銀同士初の経営統合として発足し、現在8年余。
- 経営統合のヒト・モノ・カネに関する諸課題を地道に着実にクリアしてきた(未来に向けた足場固め)。



経営統合の諸課題をクリアー。統合メリットを享受する段階へ。
⇒ YMFGは次世代フェーズへ(次は統合の果実をいかに活用するか)

- 中期経営計画2013にて、当初2年間は1つのYMFG・地域とYMFGの共栄に向けソリューション営業の体制を整備。
- 最終年度(2015)は、グループ一体となったソリューションビジネスの深化を図り、地方創生に資する存在となる。

■2013～2014 Summary

- ◆グループ3行にソリューション営業部を新設(H26.7)、それぞれに情報コーディネーターを配置
- ◆3行にCRM情報管理体制を整備、広域に情報マッチングを展開
- ◆大企業とのレレーションを活かし、バイヤー企業とサプライヤー企業をマッチング(商流創出)
- ◆地域ファンド等設立
 - ・クラウドファンディング
 - ・やまぐち夢づくり産業支援ファンド
- ◆官、学との包括連携協定締結
- ◆アジア各地の銀行と提携
- ◆人事制度統一に向けた検討
- ◆グループガバナンスの強化

■2015 中計最終年度

- 実効性ある地方創生に向けた態勢整備
～官・学との連携強化

密接に関連

- 法人向けソリューション
 - ◆地域をつなぐ商流創出について
～マッチングソリューション
 - ◆アジアネットワークの構築
～海外ソリューション
 - ◆創業・事業拡大・事業承継への支援
～ライフステージソリューション
- 個人向けソリューション
 - ◆最適な商品・サービスの提供
～ライフプランソリューション

「地域を育み、ともに成長する金融グループへ」

● 実効性ある地方創生に向けた態勢整備～官・学との連携強化



- 山口県と地方創生に係る包括連携協定を締結(H27.3.12)
- 山口大学・MOT総合研究所と包括的連携協定を締結(H27.1.16)



- グループ3行がそれぞれの地域の公設機関と密着した連携を実践。
- 3銀行の専門部署(地域振興部)を中心に官・学・民一体となった地方創生事業を実践していく。
- 各県のスポーツ振興や森林整備活動など広範なCSR活動を通じ、地域活性化に資する活動を行政と展開中。



- 広島修道大学との包括的連携協力に関する協定書締結(H27.3.26)
- 県立広島大学との包括的連携協力に関する協定書締結(H26.10.31)

具体化

- クラウドファンディング運営会社として山口ソーシャルファイナンス(株)設立(H27.4.1)(MOT総合研究所・賛同企業・当行)
※山口大学協力
- 女性創業応援やまぐち(株)設立(H27.4.7)(山口県・賛同企業・当行)



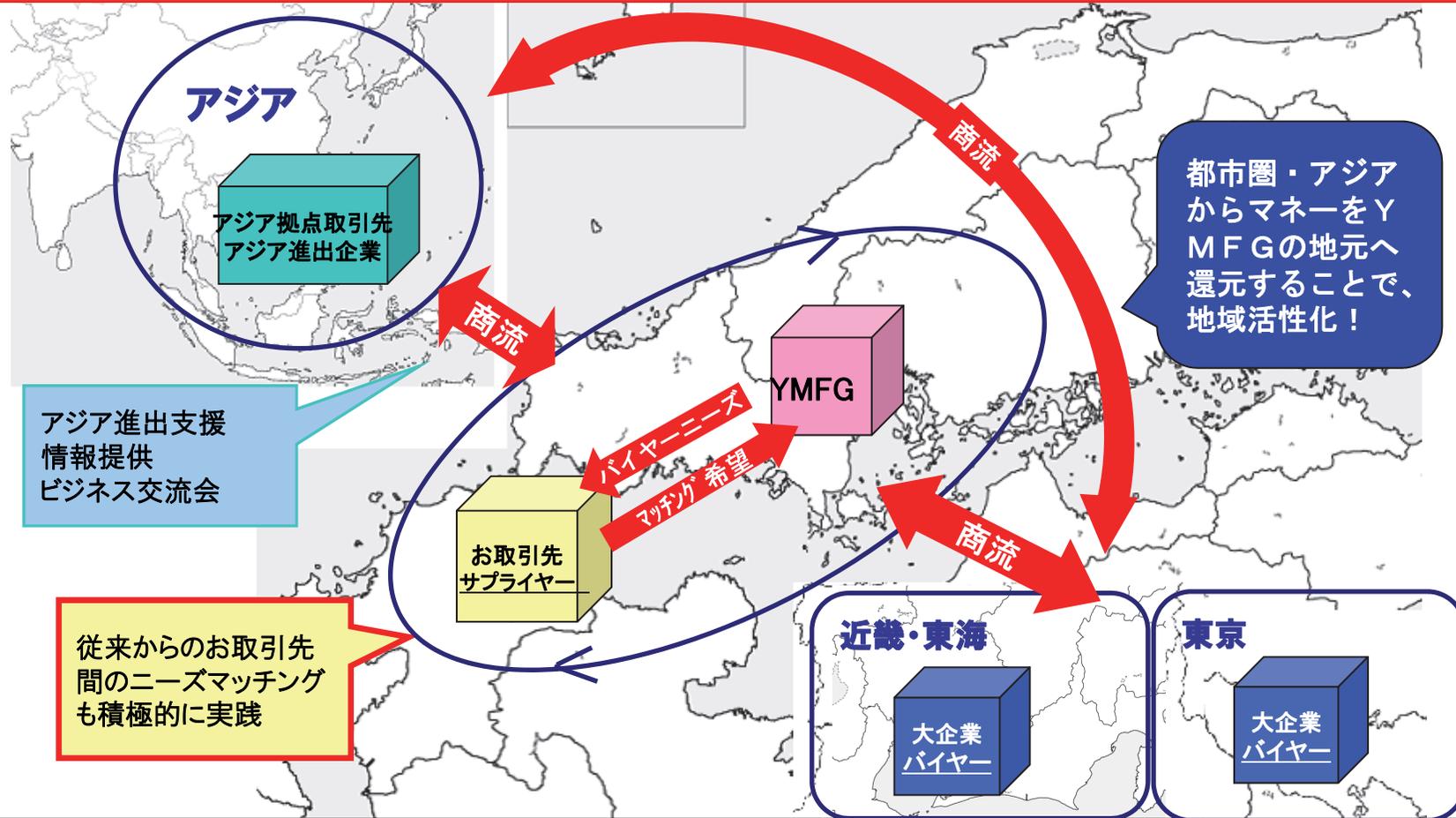
- 北九州市指定金融機関の指定
平成23年10月開業以来、公金取扱業務に携わり、地場企業支援、産学官連携への参画が評価され、平成27年度～平成30年度で4行輪番制による指定金融機関を担当する事が決定。

+ プレミアム商品券などを計画

◆地域をつなぐ商流創出について～マッチングソリューション

■YMFGの商流マッチングに関する強み

- ・旧来からの大企業との永いレレーション ⇒大企業の仕入ニーズを地域のお客様につなぐ(〇〇を作って欲しいetc)。
- ・YMFGの広域エリア ⇒山口・広島・福岡県を中心とした広範な取引先につなぐ(バイヤーにとっても有益)。
- ・YMFGのアジアネットワーク ⇒グローバルマーケットにYMFG取引先をつなぐ。



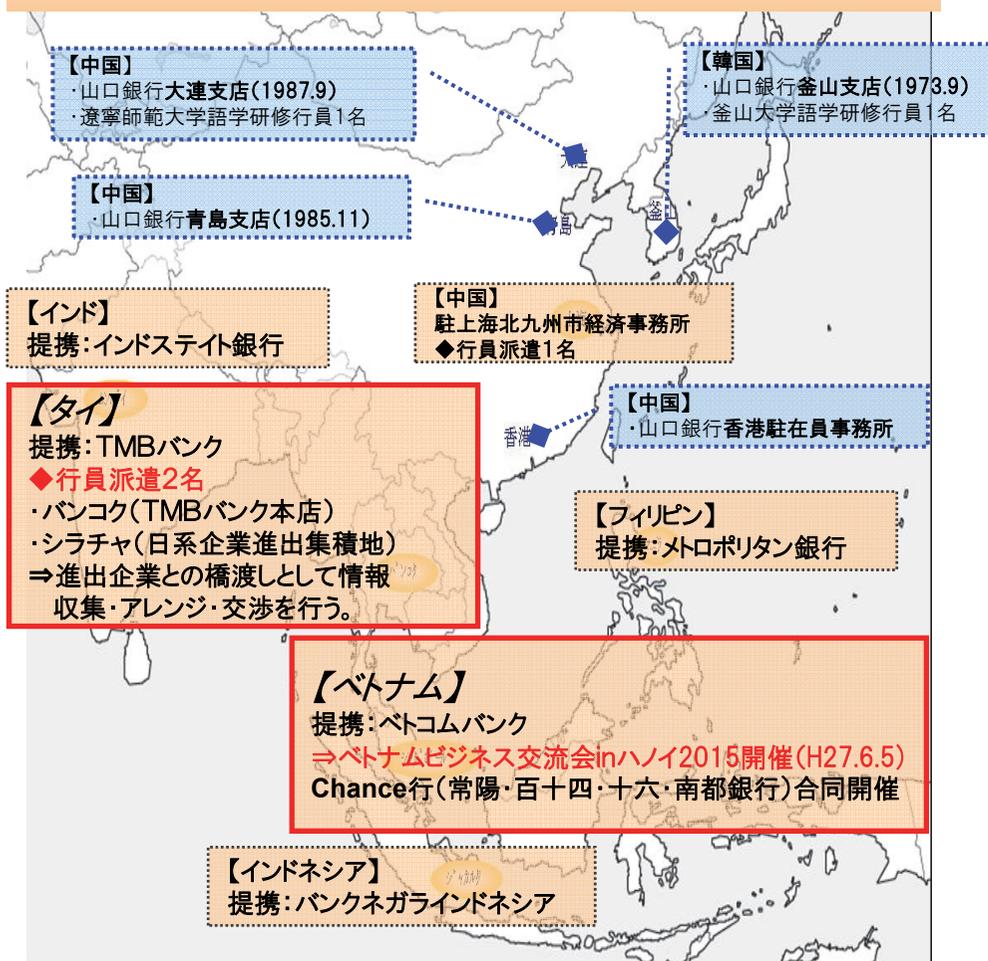
- YMFGグループ3行のソリューション営業部(H26.6新設)に情報コーディネーターを配置
- CRM情報を元に情報マッチングを3行広域に展開
- ニーズ公開企業(大企業を中心に現在39社)の取引条件を取引先へ展開

◆アジアネットワークの構築～海外ソリューション

- 旧来より海外拠点を中心としたお客様の進出をサポート(ビジネスマッチング・ファイナンス)。
- 経済のグローバル化に伴い、アジア進出企業の橋渡し役として、提携戦略を拡大。

アジアにおける拠点(3支店・1駐在員事務所)

アジアとの提携戦略強化



海外支店与信残高の拡大

海外支店与信残高(単位:百万円)



- 人民元建融資取扱認可第1号の地銀: 山口銀行
- 日本の16金融機関からスタンドバイLCを引受け、現地法人への融資を取扱い。
- クロスボーダー人民元決済取扱(自行内にて人民元建貿易決済完結)。

今後の重点分野

- 「チャイナプラスワン」への対応
- 海外事業コンサルティング能力の強化
- グローバル人材の育成
人材派遣等を通じ、進出企業のお役に立つ人材を育成する。

- 企業のライフステージに応じたソリューション営業を展開し、中長期的なリレーション強化の深化を図る。
- 創業支援に注力し、地域の活性化と雇用創出に資する企業育成を行う(地方創生の視点)。

● 創業支援

・クラウドファンディング(山口ソーシャルファイナンス株)

《出資者: MOT総合研究所・山口銀行・山口キャピタル・賛同企業18社》

・女性創業応援やまぐち株設立

《出資者: 山口県・山口キャピタル・山口銀行・山口県内賛同企業13社》

・日本政策金融公庫との連携(「創業支援・女性社会進出支援」分野)

～女性起業家セミナーを開催(H26.11.25)

● 事業承継・M&A・事業再生

- ・ワイエムコンサルティングと銀行営業店が連携し、徹底した事業承継およびM&A案件の掘り出し
- ・再生支援先に対する経営再建計画策定フォロー
- ・事業再生ファンド(やまぐち事業維新ファンド)

● 事業拡大支援

- ・商流創出に向けたニーズマッチング支援
- ・地域活性化ファンド(トリプルアクセラ成長支援ファンド)
- ・官民連携ファンド(やまぐち夢づくり産業支援ファンド)
- ・ビジネスセミナー、大規模ビジネスマッチング
- ・ワイエムコンサルティングによる事業拡大支援
- ・知財評価融資制度の取扱開始
～H27.4第一号案件実行(地中熱を利用した空調システムを分析・評価)

◆最適な商品・サービスの提供～ライフプランソリューション

- 個人のライフプランに沿った、最適な商品・サービスの提供を行い、将来的な顧客基盤の拡大と深掘りを行う。
- 住宅ローンを中心に世帯管理の徹底により、リテールファイナンスを推進する。
- グループ企業(ワイエム証券、ワイエムコンサルティング、井筒屋ウィズカード)と連携し、最適な提案を行う。

●リテールファイナンス

新たなリテール開拓として、**山口銀行豊洲支店**を開設(銀行代理業活用)。成長過程にある東京湾岸部の資金ニーズを捉まえる。



3行の代理店窓口を兼ねた
山口銀行豊洲支店

ATMローン等の非対面チャネルも増強方針

様々なチャネル開拓を行い(都心部での挑戦、非対面チャネルの構築...)、リテールファイナンスの底上げを図る。

住宅ローンは住まいのコーナーを中心に業者ルート開拓・増強を継続。

グループ企業連携による顧客基盤拡大

ライフプラン・イベントをきっかけとした
新規顧客獲得・既存顧客取引増

若年・子育て層	資産形成層	退職者層	高齢層
<ul style="list-style-type: none"> ・YMカード ・積立貯蓄保険 ・無担保ローン 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅ローン ・生保 ・資産運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・退職定期 ・資産運用 ・相続対策準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・相続対策(資産承継・遺言信託・教育資金贈与)

●個人預り資産

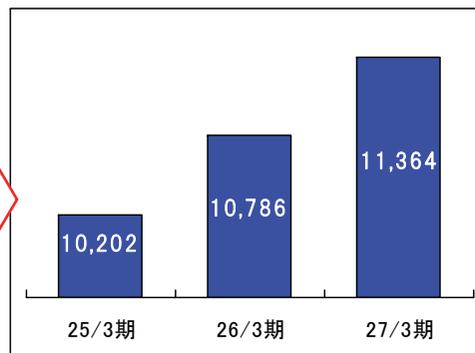
銀行窓口の資産運用担当者・得意先が世帯管理(支店間でもニーズ共有)

ワイエムコンサルティングとの連携
...企業オーナー・地主・開業医等へ資産承継など専門的なコンサルティングを実施

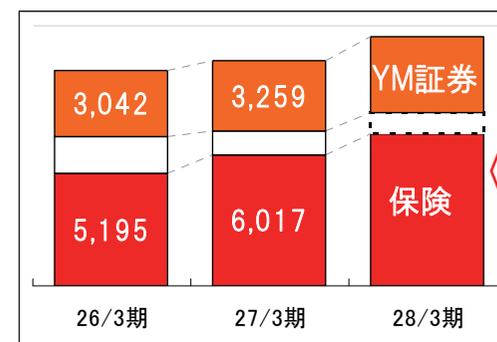
ワイエム証券との銀証連携
...資産運用ニーズの強い顧客を仲介し、証券会社による専門的な商品・提案を提供。

井筒屋ウィズカード
...流通ルートからの個人顧客囲い込み

グループ個人ローン残高(億円)



グループ個人預かり資産残高(億円)



低金利環境の中、預金以外での運用ニーズをグループで着実に捉えていく。

グループガバナンスの強化

- 監査等委員会設置会社への移行 (FG・3銀行・ワイエム証券) により、グループのコーポレート・ガバナンス体制の一層の充実を図る。
- グループ内の資本関係を見直し、グループ会社は全て持株会社直接出資会社へ

● 監査等委員会設置会社への移行 (本年6月の定時株主総会での承認が条件)

※移行予定会社

山口フィナンシャルグループ

山口銀行

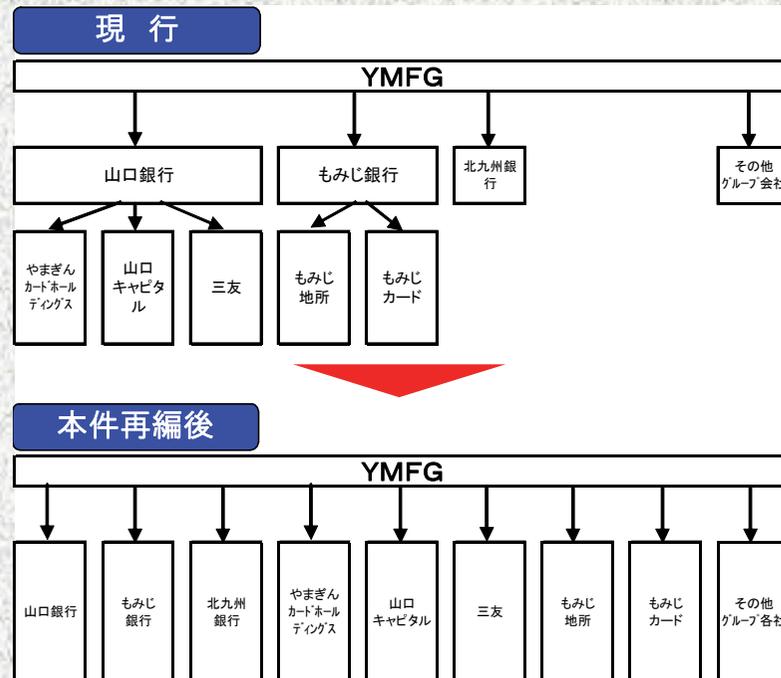
もみじ銀行

北九州銀行

ワイエム証券

監査等委員である取締役(過半数は社外取締役)に取締役会における議決権を付与することで、各々の監査・監督機能を高める。
⇒コーポレート・ガバナンス体制の充実により企業価値の向上を図る。

● 持株会社の内部統制機能強化(資本関係見直し)



すべてのグループ内会社が当社の直接出資会社となることで、グループ内部統制機能を強化すると共に、グループ内会社に対してスピーディーな意思決定を実現する。

3.資料編

業績推移(1) FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	24/3期 (通期)	25/3期 (通期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,227	1,199	1,181	1,169	1,185	1,138	555	1,148	10
コア業務純益	385	373	299	277	319	286	130	314	27
経常利益	195	390	357	363	438	498	210	473	△ 25
当期利益	137	267	191	179	272	312	134	305	△ 7
ROE	3.31%	6.19%	4.23%	3.92%	5.52%	6.04%	5.06%	5.61%	△0.43%
総資産	77,772	86,475	87,581	91,154	93,272	96,350	97,383	101,951	5,601
BIS比率	9.67%	11.13%	11.36%	11.75%	13.34%	12.69%	13.21%	13.43%	0.74%

3行合算

(億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	24/3期 (通期)	25/3期 (通期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,200	1,152	1,149	1,120	1,128	1,073	527	1,087	13
資金収支	1,058	1,029	1,051	1,008	945	949	473	974	25
役務収支	123	105	102	102	104	123	60	125	1
経費	773	753	810	810	786	768	383	750	△ 18
人件費	379	376	380	369	359	346	166	329	△ 17
物件費	355	339	384	395	389	385	194	380	△ 4
コア業務純益	426	398	338	309	341	304	143	336	32
経常利益	240	418	425	393	457	500	225	497	△ 2
当期利益	185	303	264	215	304	330	155	321	△ 9
与信関係費用	101	31	27	4	1	△ 69	△ 27	△ 41	28

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体

(億円)

		21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	24/3期 (通期)	25/3期 (通期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	744	718	733	665	579	577	289	594	16
	資金収支	666	647	672	594	511	505	258	535	30
	役務収支	69	68	68	66	65	76	37	77	1
	経費	461	444	503	443	395	380	189	369	△ 10
	人件費	241	237	234	199	176	166	78	155	△ 11
	物件費	198	187	239	223	201	196	100	195	△ 0
	コア業務純益	283	273	230	221	184	197	99	224	27
	経常利益	142	259	283	262	265	306	147	313	7
	当期利益	112	162	176	138	167	189	98	200	10
	与信関係費用	104	67	45	21	△ 14	△ 47	△ 10	△ 6	40
もみじ銀行	コア業務粗利益	455	434	415	402	441	386	183	382	△ 4
	資金収支	391	382	379	365	334	346	165	340	△ 6
	役務収支	53	36	33	33	32	38	19	38	0
	経費	312	308	307	322	301	298	148	289	△ 8
	人件費	137	138	146	149	141	138	67	132	△ 5
	物件費	156	152	144	150	144	145	72	140	△ 4
	コア業務純益	142	125	108	79	139	88	34	93	4
	経常利益	94	120	121	113	170	173	60	154	△ 18
	当期利益	73	141	88	74	125	129	45	106	△ 23
	与信関係費用	△ 2	△ 35	△ 18	△ 6	18	△ 22	△ 10	△ 25	△ 2
北九州銀行	コア業務粗利益				53	108	108	54	110	1
	資金収支				48	99	97	49	98	1
	役務収支				3	7	8	4	8	0
	経費				44	89	89	45	91	1
	人件費				19	41	41	20	41	△ 0
	物件費				21	43	43	21	43	0
	コア業務純益				8	18	19	9	18	△ 0
	経常利益				17	20	20	17	29	9
	当期利益				2	12	11	10	15	3
	与信関係費用				△ 11	△ 1	△ 0	△ 7	△ 9	△ 9

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
国内貸出金合計	36,404	38,163	38,333	31,854	32,000	32,696	32,931	34,135	1,439
法人貸出金	26,953	27,184	27,031	21,859	22,024	22,461	22,378	23,379	918
大企業	9,132	9,775	9,699	9,638	10,034	10,138	10,252	10,709	571
中堅企業	1,308	1,283	1,531	989	971	969	957	932	△ 37
中小企業等	16,512	16,125	15,801	11,230	11,018	11,352	11,168	11,737	384
地公体	3,239	4,410	4,677	4,738	4,771	4,941	5,234	5,296	355
外郭団体	1,008	944	946	428	166	93	61	71	△ 21
個人ローン	5,201	5,625	5,679	4,828	5,037	5,200	5,257	5,387	187
住宅ローン	4,406	4,632	4,714	4,058	4,287	4,491	4,576	4,723	232
その他ローン	796	992	964	770	750	709	681	664	△ 44

もみじ銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
国内貸出金合計	18,602	18,878	18,912	18,797	18,279	19,283	19,539	20,063	780
法人貸出金	13,021	12,757	12,344	12,126	12,154	12,152	12,154	12,358	206
大企業	2,866	2,630	2,878	2,925	3,593	3,290	3,248	3,336	45
中堅企業	761	1,170	761	804	582	611	603	643	31
中小企業等	9,394	8,956	8,704	8,397	7,978	8,249	8,302	8,378	128
地公体	1,169	1,476	1,719	1,760	2,101	2,819	2,988	3,175	355
外郭団体	167	205	205	134	64	76	60	69	△ 7
個人ローン	4,243	4,438	4,642	4,776	3,958	4,235	4,335	4,460	225
住宅ローン	3,435	3,701	3,963	4,111	3,351	3,672	3,804	3,948	275
その他ローン	807	737	678	665	606	562	530	512	△ 49

北九州銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
国内貸出金合計				7,231	7,654	8,046	8,417	8,691	645
法人貸出金				5,791	6,003	6,227	6,356	6,455	228
大企業				605	832	916	933	934	17
中堅企業				521	552	500	496	495	△ 5
中小企業等				4,664	4,618	4,810	4,926	5,026	215
地公体				399	389	378	559	659	281
外郭団体				20	55	89	83	59	△ 29
個人ローン				1,020	1,206	1,350	1,418	1,516	165
住宅ローン				810	956	1,069	1,129	1,207	138
その他ローン				210	249	281	289	308	27

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
預金		43,640	47,387	48,282	43,703	45,780	47,678	48,373	49,671	2,473
内容別	一般	41,008	44,276	43,939	40,028	41,543	43,301	43,450	45,396	1,617
	公金	2,064	2,306	2,454	2,752	2,505	2,701	2,737	2,646	30
	金融	566	803	1,888	922	1,731	1,675	2,185	1,627	△ 47
商品別	邦貨定期性預金	22,239	24,547	24,384	22,173	23,694	24,460	25,677	25,226	765
	邦貨流動性預金	21,093	22,527	23,504	21,248	21,849	22,719	22,223	23,533	813
	外貨預金	307	311	394	281	236	497	472	911	413
譲渡性預金		2,517	4,178	4,013	4,759	3,340	3,602	3,281	4,796	1,193

もみじ銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
預金		24,748	26,520	26,068	25,995	26,122	26,445	26,822	27,160	715
内容別	一般	24,043	25,287	25,454	25,648	25,816	26,134	26,447	26,896	762
	公金	390	731	253	101	116	130	268	166	35
	金融	315	501	361	245	190	181	105	97	△ 83
商品別	邦貨定期性預金	14,289	15,111	14,768	14,738	14,456	14,073	14,234	14,195	121
	邦貨流動性預金	10,007	10,454	10,807	11,156	11,577	12,314	12,521	12,899	585
	外貨預金	451	954	492	99	88	56	67	64	8
譲渡性預金		145	444	1,557	1,915	2,079	2,007	1,293	2,294	287

北九州銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
預金					6,377	6,842	7,686	8,093	8,315	628
内容別	一般				6,271	6,759	7,535	7,801	8,193	657
	公金				46	28	53	223	43	△ 10
	金融				59	55	97	68	78	△ 18
商品別	邦貨定期性預金				3,379	3,971	4,360	4,717	4,689	328
	邦貨流動性預金				2,871	2,751	3,242	3,310	3,547	304
	外貨預金				126	119	82	65	78	△ 4
譲渡性預金					449	427	611	523	633	21

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
資金運用勘定計	45,607	49,473	52,106	50,719	48,589	51,041	52,804	53,425	2,384
貸出金	33,976	35,980	36,587	33,656	30,803	32,086	32,785	33,160	1,074
有価証券	10,062	10,417	12,317	12,371	13,591	14,864	16,072	16,047	1,184
コールローン	948	2,646	2,917	4,082	3,927	3,175	1,793	2,019	△ 1,155
資金調達勘定計	43,555	47,404	50,047	49,049	46,981	49,257	50,792	51,348	2,091
預金	41,784	44,183	46,104	44,506	42,944	45,668	46,565	46,838	1,170
譲渡性預金	2,142	3,627	4,181	4,838	4,168	3,209	3,488	3,745	537
コールマネー	376	300	393	253	396	664	925	896	233

もみじ銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
資金運用勘定計	24,666	26,026	26,893	27,087	27,102	28,290	28,381	28,536	246
貸出金	17,428	18,416	18,486	18,562	18,024	18,763	19,120	19,376	614
有価証券	6,732	6,675	7,598	7,446	7,310	8,109	7,050	6,992	△ 1,117
コールローン	437	902	767	1,001	1,700	653	441	443	△ 210
資金調達勘定計	24,375	25,573	26,188	26,262	26,382	27,491	27,622	27,766	275
預金	23,662	24,765	25,333	25,049	25,325	26,032	26,407	26,533	501
譲渡性預金	298	397	590	1,027	880	1,249	969	980	△ 268
コールマネー	18	19	7	9	9	12	9	10	△ 1

北九州銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/9期	27/3期	前年同期比
資金運用勘定計				7,208	7,500	8,208	8,781	8,927	719
貸出金				6,774	7,194	7,696	8,146	8,296	600
有価証券				155	148	137	168	177	41
コールローン				251	123	75	47	41	△ 34
資金調達勘定計				6,703	7,024	7,525	8,081	8,228	704
預金				5,997	6,307	6,937	7,459	7,618	681
譲渡性預金				418	415	560	617	602	42
コールマネー				501	297	25	1	4	△ 20

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.852	1.564	1.356	1.302	1.164	1.090	1.093	0.003
貸出金利回	ア	1.930	1.736	1.618	1.537	1.431	1.313	1.248	△ 0.065
有価証券利回		1.659	1.346	1.295	1.056	0.841	0.846	0.997	0.151
コールローン利回		1.548	0.219	0.251	0.195	0.160	0.166	0.218	0.052
資金調達利回	②	0.408	0.267	0.179	0.135	0.115	0.104	0.095	△ 0.009
預金利回		0.365	0.257	0.172	0.123	0.098	0.091	0.081	△ 0.010
譲渡性預金利回		0.650	0.319	0.169	0.141	0.147	0.111	0.097	△ 0.014
コールマネー利回		2.928	0.663	0.647	1.038	0.891	0.513	0.453	△ 0.060
経費率	③	1.059	0.938	1.005	0.904	0.841	0.772	0.720	△ 0.052
資金調達原価 (②+③)	④	1.467	1.205	1.184	1.039	0.956	0.877	0.815	△ 0.062
預金等原価	イ	1.429	1.192	1.172	1.024	0.941	0.871	0.813	△ 0.058
預金等利回	ウ	0.379	0.261	0.172	0.124	0.103	0.092	0.082	△ 0.010
経費率		1.050	0.930	1.000	0.899	0.838	0.778	0.730	△ 0.048
預貸金利鞘 (ア-イ)		0.501	0.544	0.446	0.513	0.490	0.442	0.435	△ 0.007
預貸金単純利鞘 (ア-ウ)		1.551	1.475	1.446	1.413	1.328	1.221	1.166	△ 0.055
預証単純利鞘		1.280	1.085	1.123	0.932	0.738	0.754	0.915	0.161

もみじ銀行		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.941	1.746	1.592	1.457	1.317	1.305	1.261	△ 0.044
貸出金利回	ア	2.246	2.021	1.892	1.781	1.653	1.498	1.379	△ 0.119
有価証券利回		1.170	1.099	0.897	0.783	0.725	1.057	1.289	0.232
コールローン利回		0.429	0.130	0.135	0.144	0.120	0.115	0.122	0.007
資金調達利回	②	0.358	0.282	0.186	0.113	0.084	0.082	0.070	△ 0.012
預金利回		0.319	0.259	0.174	0.108	0.078	0.076	0.063	△ 0.013
譲渡性預金利回		0.606	0.296	0.194	0.155	0.139	0.118	0.115	△ 0.003
コールマネー利回		3.690	0.895	0.658	0.849	0.297	0.260	0.346	0.086
経費率	③	1.282	1.208	1.175	1.227	1.144	1.084	1.042	△ 0.042
資金調達原価 (②+③)	④	1.640	1.490	1.361	1.340	1.228	1.166	1.112	△ 0.054
預金等原価	イ	1.627	1.488	1.362	1.346	1.232	1.171	1.117	△ 0.054
預金等利回	ウ	0.322	0.260	0.175	0.110	0.080	0.078	0.065	△ 0.013
経費率		1.304	1.228	1.187	1.235	1.152	1.093	1.052	△ 0.041
預貸金利鞘 (ア-イ)		0.619	0.533	0.530	0.435	0.421	0.327	0.262	△ 0.065
預貸金単純利鞘 (ア-ウ)		1.924	1.761	1.717	1.671	1.573	1.420	1.314	△ 0.106
預証単純利鞘		0.848	0.839	0.722	0.673	0.645	0.979	1.224	0.245

北九州銀行		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	前年同期比
資金運用利回	①				1.483	1.455	1.309	1.210	△ 0.099
貸出金利回	ア				1.546	1.462	1.352	1.251	△ 0.101
有価証券利回					0.592	1.960	1.996	2.000	0.004
コールローン利回					0.467	0.671	0.401	0.470	0.069
資金調達利回	②				0.140	0.139	0.130	0.111	△ 0.019
預金利回					0.131	0.137	0.128	0.108	△ 0.020
譲渡性預金利回					0.231	0.155	0.134	0.139	0.005
コールマネー利回					0.130	0.116	0.123	0.194	0.071
経費率	③				1.339	1.280	1.192	1.107	△ 0.085
資金調達原価 (②+③)	④				1.479	1.420	1.322	1.218	△ 0.104
預金等原価	イ				1.587	1.476	1.325	1.218	△ 0.107
預金等利回	ウ				0.138	0.138	0.128	0.110	△ 0.018
経費率					△ 0.041	1.338	1.196	1.108	△ 0.088
預貸金利鞘 (ア-イ)					△ 0.041	△ 0.014	0.027	0.033	0.006
預貸金単純利鞘 (ア-ウ)					1.408	1.324	1.224	1.141	△ 0.083
預証単純利鞘					0.454	1.822	1.868	1.890	0.022

※単位未満を切捨表示。

債務者区分の遷移状況(平成26年9月末⇒平成27年3月末)

(1) 山口銀行 (億円)

			27年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年9月末	正常先	24,901	24,542	72	0	14	1	-	270	
	要注意先	その他	3,818	148	3,589	6	2	0	2	69
		要管理先	170	-	52	104	6	-	-	6
	破綻懸念先	336	-	6	0	290	28	-	10	
	実質破綻先	79	-	-	-	0	69	5	4	
	破綻先	69	-	-	-	-	-	64	4	

ランクダウン 139億円

ランクアップ 208億円

(2) もみじ銀行 (億円)

			27年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年9月末	正常先	11,928	11,628	145	0	0	0	0	152	
	要注意先	その他	3,335	152	3,101	0	2	6	8	63
		要管理先	38	-	6	30	0	-	0	0
	破綻懸念先	163	0	13	1	141	3	0	4	
	実質破綻先	123	-	-	-	-	93	1	27	
	破綻先	108	-	-	-	-	-	61	47	

ランクダウン 170億円

ランクアップ 173億円

(3) 北九州銀行 (億円)

			27年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年9月末	正常先	4,718	4,571	85	3	0	0	-	58	
	要注意先	その他	2,835	133	2,631	5	7	0	4	51
		要管理先	28	-	7	17	0	0	1	1
	破綻懸念先	63	-	0	-	61	-	-	0	
	実質破綻先	42	-	-	-	-	33	7	0	
	破綻先	68	-	-	-	-	-	64	4	

ランクダウン 115億円

ランクアップ 142億円

(注)

1. 対象債務者は個人消費者以外。
2. 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
3. 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

債務者区分の遷移状況(平成26年3月末⇒平成27年3月末)

(1) 山口銀行

(億円)

			27年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26 年 3 月 末	正常先	24,237	23,137	517	1	13	1	-	565	
	要注意先	その他	4,132	686	3,261	29	7	1	8	137
		要管理先	150	-	54	85	7	-	-	3
	破綻懸念先	354	0	18	0	286	29	4	14	
	実質破綻先	83	-	-	-	0	68	3	10	
	破綻先	71	-	-	-	-	-	61	9	

ランクダウン 626億円

ランクアップ 761億円

(2) もみじ銀行

(億円)

			27年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26 年 3 月 末	正常先	11,700	10,983	350	0	0	1	0	363	
	要注意先	その他	3,333	385	2,786	3	9	8	9	131
		要管理先	86	0	53	31	0	-	-	1
	破綻懸念先	167	0	14	1	136	4	0	9	
	実質破綻先	123	-	-	-	1	92	1	28	
	破綻先	110	-	0	-	-	-	61	48	

ランクダウン 391億円

ランクアップ 456億円

(3) 北九州銀行

(億円)

			27年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26 年 3 月 末	正常先	4,297	3,976	201	0	0	0	-	119	
	要注意先	その他	2,924	346	2,451	12	12	0	5	95
		要管理先	25	-	8	13	1	0	-	2
	破綻懸念先	68	-	2	0	57	3	2	1	
	実質破綻先	42	-	-	-	-	30	11	1	
	破綻先	65	-	-	-	-	-	60	5	

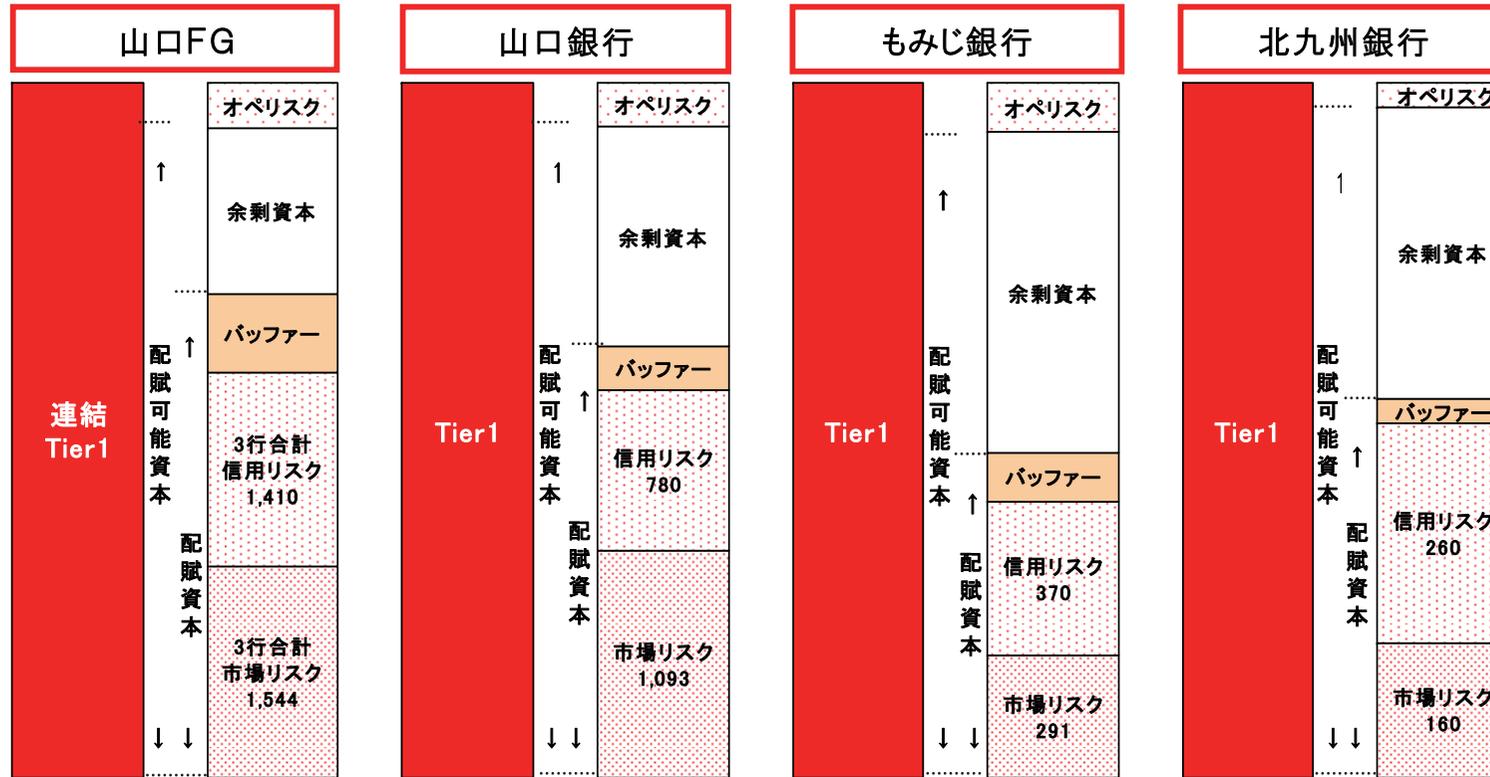
ランクダウン 252億円

ランクアップ 358億円

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('15/3末)	641	270	176	1,087
	資本配賦額	780	370	260	1,410
	使用率	82.2%	73.0%	67.7%	
市場リスク	リスク量('15/3末)	740	213	126	1,079
	資本配賦額	1,093	291	160	1,544
	使用率	67.7%	73.2%	78.8%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を统一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファ: 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

◆景気は緩やかに回復している。

生産

窯業・土石や鉄鋼の生産がやや弱含んでいるものの、自動車の稼働率が高めで推移し、化学も主要品目の生産が総じて高水準となるなど、生産活動全体としては底堅い状況が続いている。

設備投資

平成26年度の設備投資額は(山口経済研究所調べ)、大手化学メーカーが揃って投資額を増額するなど、全体でも前年度比30.3%増加と3年ぶりに前年度を上回った。

輸出

輸出額は、防府港の自動車や北米や西欧向けを中心に減少しているものの、徳山港のアジア向け有機化合物や鉄鋼、下関港の半導体等製造装置等が増加するなど、全体では前年を上回る水準で推移している。

個人消費

乗用車新車販売台数や家電量販店販売額等が前年割れを続けている一方、大型小売店販売額が前年を上回るなど、一部に明るさがみられる。

公共工事

平成26年度の公共工事請負金額は、岩国飛行場関連を中心とする大型工事の増加もあって、国、市町からの発注が増加し、全体でも10年ぶりの高水準となった。

住宅建築

今年1-3月期の新設住宅着工戸数は5四半期連続の前年比マイナスとなったものの、足元(3月)では持家、貸家が増加するなど、回復の兆しが窺える状況となっている。

雇用情勢

今年1-3月期の有効求人倍率は1.11倍と8年ぶりの高水準に達したほか、実質賃金が前年を上回る水準となるなど、緩やかに改善している。

企業倒産

平成26年度の倒産件数、負債総額がいずれも前年度を下回り、全体で見ると小康状態が続いている。

◆景気は緩やかに回復している。

生産	市況低迷から鉄鋼の生産が弱含んでいるものの、自動車が高操業となっているほか、電気機械(スマートフォン向け部品等)も高操業を続けるなど、全体では横這い圏内で推移している。
設備投資	平成26年度の設備投資額(実績見込み:日銀広島支店調べ)は、製造業(前年度比+18.0%)、非製造業(同+14.8%)ともに大きく前年を上回り、全体でも同16.2%増加と2年連続の前年度比プラスとなっている。
輸出	一般機械を中心に増加傾向を続けている。
個人消費	消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、百貨店販売、家電量販店販売で明るい動きがみられ、乗用車新車販売台数も持ち直すなど、基調としては底堅い推移となっている。
公共工事	平成26年度の公共工事請負金額は、国からの発注が減少するなど、前年度比5.4%減少となった。但し、広島市内では昨年8月の豪雨災害の復旧工事の影響もあって、建設業者の繁忙度が高くなっている。
住宅建築	今年1-3月期の着工戸数は前年比13.3%減少と5四半期連続の前年割れとなったものの、持家が2月以降2ヶ月連続で前年を上回るなど、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は和らぎつつある。
雇用情勢	今年1-3月期の有効求人倍率は1.38倍で平成4年7-9月期以来の高水準となったほか、所定内給与等の増加によって現金給与総額も前年を上回る水準となるなど、改善傾向を続けている。
企業倒産	倒産件数、負債総額ともに減少傾向となっている。

◆北九州地区の経済は、一部に引き続き弱めの動きが見られるものの、全体としては緩やかに回復している。

生産

自動車で国内向け車種の一部に弱めの動きがみられる一方、鉄鋼・電気機械など多くの業種で高操業が続いていることから、全体として高水準で横ばい圏内の動きとなっている。

設備投資

企業収益が堅調に推移する中で、先行きの需要増加を見込む先が多く、基調としては持ち直している。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2014年度の設備投資額は、前年度に比べ製造業が32.0%増加、非製造業が10.1%減少し、全体では12.2%の増加となる見込み。

輸出

堅調な海外需要を背景に、増加している。

個人消費

一部の季節商品に動意がみられているものの、全体としては幾分弱めの動きが続いている。

公共工事

高水準ながら幾分弱含んでおり、2015年1月～3月期の公共工事請負額は前年同期比で9.2%減少した。

住宅建築

弱めの動きとなっており、2014年度の新設住宅着工戸数は、前年比で25.1%減少した。

雇用情勢

緩やかに改善しており、2015年3月の有効求人倍率は1.08倍となっている。

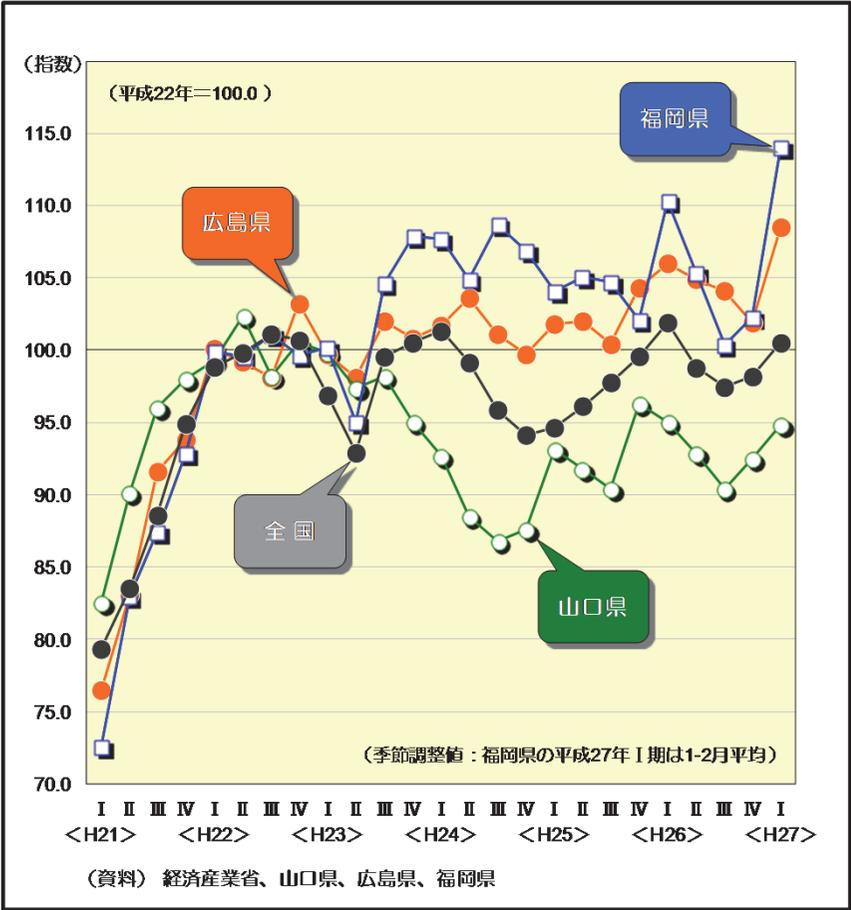
企業倒産

2014年度の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、前年度に比べ件数は減少したものの、負債総額は増加した。

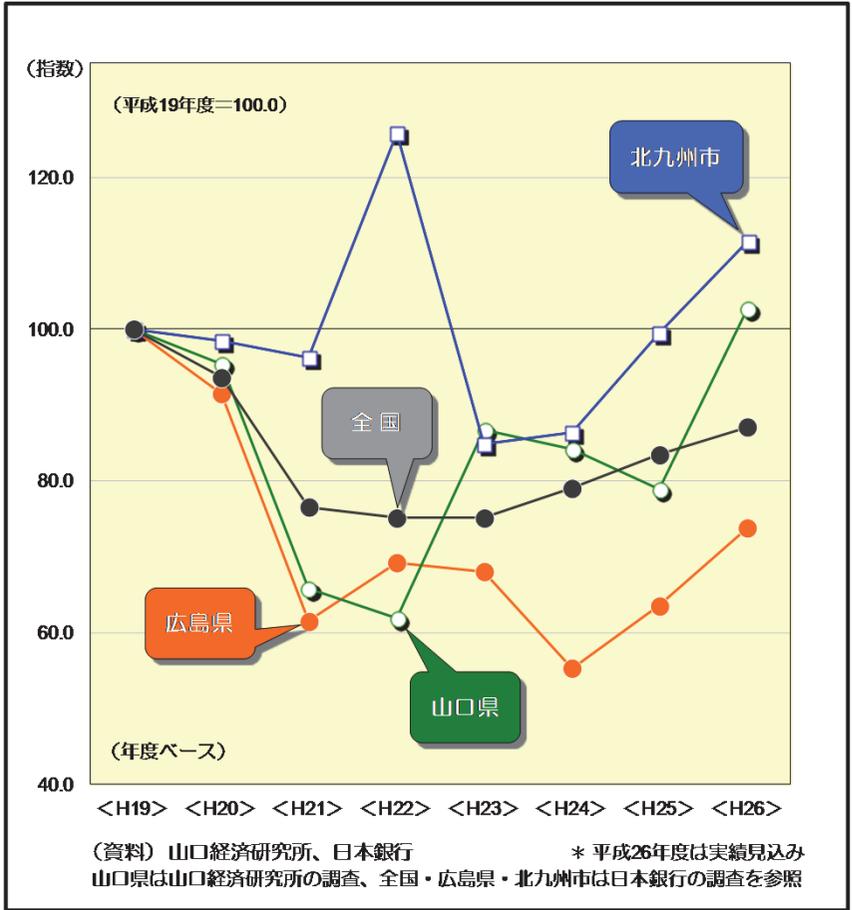
地域経済概況（鉱工業生産・設備投資）

- ◆ 鉱工業生産指数：自動車や化学等の主要業種の生産が高めの水準を維持し、全体でも底堅く推移
- ◆ 設備投資額（平成26年度）：山口県（前年度比+30.3%）が3年ぶりのプラス、広島県（同+16.2%）は2年連続のプラス、北九州市（同+12.2%）は3年連続のプラス

鉱工業生産指数の推移

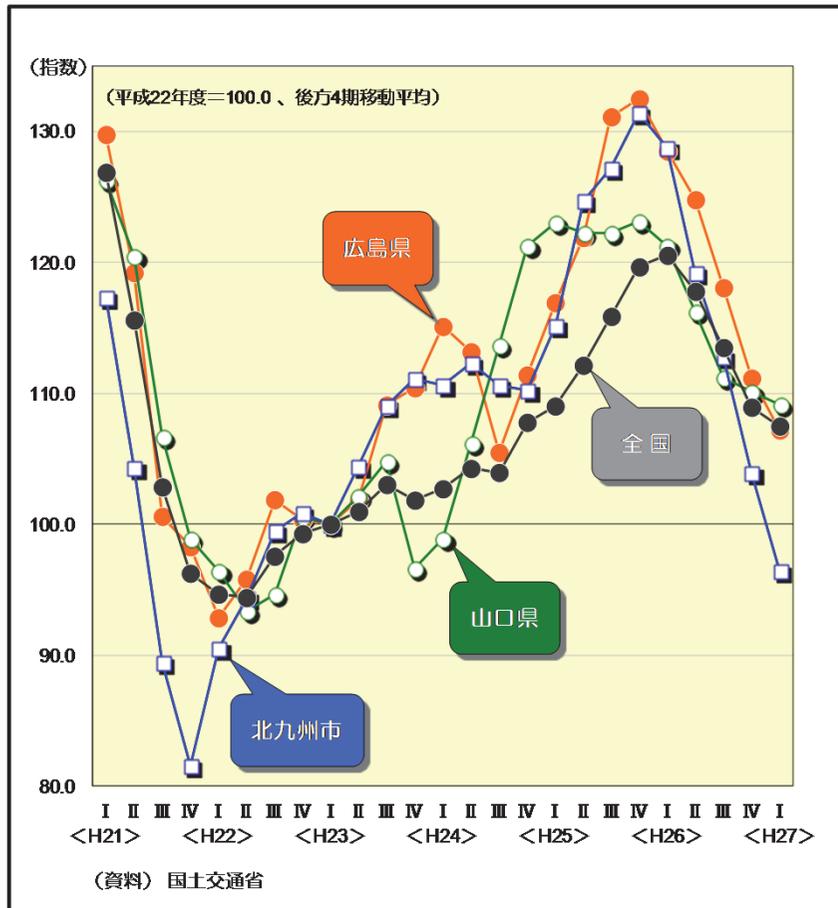


設備投資額の推移

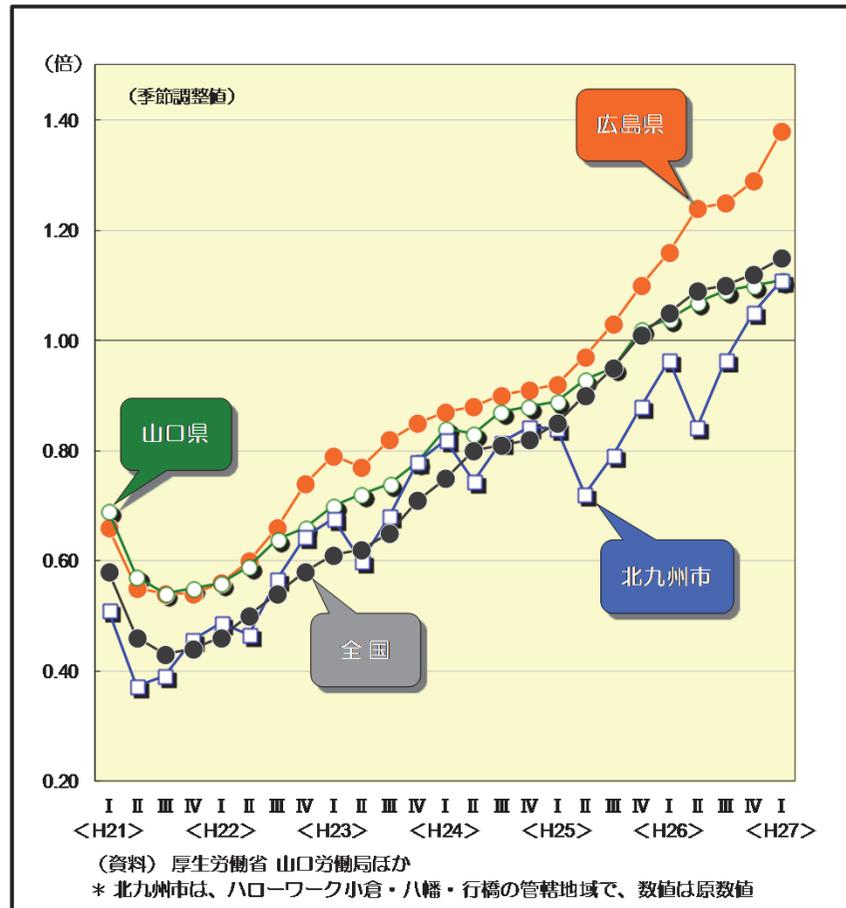


- ◆住宅着工戸数：消費税増税による駆け込み需要の反動が徐々に緩和
- ◆雇用情勢：有効求人倍率が上昇を続けるなど、緩やかな改善傾向

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 久保

カスタマーコミュニケーション部 平中

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>